

令和 5 年第 2 回定例会

東 吾 妻 町 議 会 会 議 録

令和 5 年 6 月 6 日 開会

令和 5 年 6 月 15 日 閉会

東 吾 妻 町 議 会

令和五年 第二回〔六月〕定例会

東吾妻町議会議録

令和5年東吾妻町議会第2回定例会会議録目次

第 1 号 （6月6日）

○議事日程	1
○本日の会議に付した事件	2
○出席議員	2
○欠席議員	2
○地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名	2
○職務のため出席した者	2
○議長挨拶	4
○町長挨拶	5
○開会及び開議の宣告	5
○議事日程の報告	5
○会議録署名議員の指名	6
○会期の決定	6
○諸般の報告	6
○議員派遣の件について	7
○発委第1号の上程、説明、質疑、自由討議、討論、採決	8
○議会広報特別委員会委員の選任について	9
○議会広報特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告	10
○選挙第1号	11
○同意第1号の上程、説明、採決	12
○同意第2号の上程、説明、採決	13
○同意第3号の上程、説明、採決	13
○同意第4号の上程、説明、採決	14
○同意第5号及び同意第6号の上程、説明、採決	15
○報告第1号の上程、説明、質疑	17
○報告第2号の上程、説明、質疑	17
○議案第3号の上程、説明、議案調査	18
○議案第4号の上程、説明、議案調査	19

○議案第 5 号の上程、説明、議案調査	21
○議案第 6 号の上程、説明、議案調査	22
○議案第 7 号の上程、説明、議案調査	23
○議案第 1 号の上程、説明、議案調査	24
○議案第 2 号の上程、説明、議案調査	31
○議案第 8 号の上程、説明、議案調査	32
○議案第 9 号の上程、説明、議案調査	33
○陳情書の処理について	34
○散会の宣告	34

第 2 号 （6 月 1 4 日）

○議事日程	37
○本日の会議に付した事件	37
○出席議員	37
○欠席議員	38
○地方自治法第 1 2 1 条第 1 項の規定により説明のため出席した者の職氏名	38
○職務のため出席した者	38
○開議の宣告	39
○議事日程の報告	39
○議案第 3 号の質疑、自由討議、討論、採決	39
○議案第 4 号の質疑、自由討議、討論、採決	40
○議案第 5 号の質疑、自由討議、討論、採決	40
○議案第 6 号の質疑、自由討議、討論、採決	41
○議案第 7 号の質疑、自由討議、討論、採決	42
○議案第 1 号の質疑、自由討議、討論、採決	42
○議案第 2 号の質疑、自由討議、討論、採決	43
○議案第 8 号の質疑、自由討議、討論、採決	44
○議案第 9 号の質疑、自由討議、討論、採決	44
○議員派遣の件について	45
○陳情書の委員会審査報告	47

○委員会報告について	49
○発委第2号の説明、質疑、自由討議、討論、採決	50
○予算決算特別委員会委員の選任について	56
○予算決算特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告	57
○閉会中の継続審査（調査）事件について	58
○町政一般質問	58
竹 淵 博 行 君	59
重 野 能 之 君	68
○延会について	74
○延会の宣告	74

第 3 号 （6月15日）

○議事日程	75
○本日の会議に付した事件	75
○出席議員	75
○欠席議員	75
○地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名	75
○職務のため出席した者	76
○開議の宣告	77
○議事日程の報告	77
○町政一般質問	77
高 橋 徳 樹 君	77
齋 藤 貴 史 君	91
○町長挨拶	99
○議長挨拶	100
○閉会の宣告	100
○署名議員	101

令和 5 年 6 月 6 日（火曜日）

（第 1 号）

令和５年東吾妻町議会第２回定例会

議 事 日 程（第１号）

令和５年６月６日（火）午前１０時開会

- 第 １ 会議録署名議員の指名
- 第 ２ 会期の決定
- 第 ３ 諸般の報告
- 第 ４ 議員派遣の件について
- 第 ５ 発委第 １号 議会広報特別委員会設置に関する決議について
- 第 ６ 議会広報特別委員会委員の選任について
- 第 ７ 議会広報特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告
- 第 ８ 選挙第 １号 烏帽子山植林組合議会議員の補欠選挙
- 第 ９ 同意第 １号 東吾妻町副町長の選任について
- 第１０ 同意第 ２号 東吾妻町監査委員の選任について
- 第１１ 同意第 ３号 東吾妻町監査委員の選任について
- 第１２ 同意第 ４号 東吾妻町教育委員会委員の任命について
- 第１３ 同意第 ５号 東吾妻町懲戒審査委員会委員の選任について
- 第１４ 同意第 ６号 東吾妻町懲戒審査委員会委員の選任について
- 第１５ 報告第 １号 令和４年度東吾妻町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 第１６ 報告第 ２号 令和４年度東吾妻町地域開発事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 第１７ 議案第 ３号 東吾妻町犯罪被害者等支援条例について
- 第１８ 議案第 ４号 東吾妻町税条例の一部を改正する条例について
- 第１９ 議案第 ５号 東吾妻町手数料徴収条例の一部を改正する条例について
- 第２０ 議案第 ６号 東吾妻町保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 第２１ 議案第 ７号 東吾妻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 第２２ 議案第 １号 令和５年度東吾妻町一般会計補正予算（第２号）

第 2 3 議案第 2 号 令和 5 年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）

第 2 4 議案第 8 号 工事請負契約の締結について

第 2 5 議案第 9 号 物品購入契約の締結について

第 2 6 陳情書の処理について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（11名）

1 番	佐 藤 聡 一 君	3 番	増 子 京 子 君
4 番	渡 一 美 君	5 番	井 上 日 出来 君
6 番	高 橋 弘 君	7 番	高 橋 徳 樹 君
8 番	里 見 武 男 君	9 番	小 林 光 一 君
10 番	重 野 能 之 君	11 番	竹 渕 博 行 君
12 番	樹 下 啓 示 君		

欠席議員（1名）

2 番 齋 藤 貴 史 君

地方自治法第 121 条第 1 項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	中 澤 恒 喜 君	副 町 長	渡 辺 三 司 君
教 育 長	山 野 邦 明 君	総 務 課 長	関 和 夫 君
企 画 課 長	水 出 悟 君	まちづくり 推進 課 長	酒 井 文 彰 君
保健福祉課長	小 池 さつき 君	町 民 課 長	寺 嶋 正 春 君
税 務 課 長	堀 込 恒 弘 君	農 林 課 長	角 田 良 信 君
建 設 課 長	福 原 治 彦 君	上下水道課長	高 橋 篤 君
会 計 課 長 兼 会 計 管 理 者	武 井 幸 二 君	学校教育課長	谷 直 樹 君
社会教育課長	加 藤 俊 夫 君		

職務のため出席した者

議会事務局長
議会事務局
議主

西 山 孝 弘
田 中 康 夫

議会事務局
議補佐

西 卷 雅 子

◎議長挨拶

○議長（佐藤聡一君） おはようございます。

開会に当たり、一言、挨拶を申し上げます。

本日ここに、令和５年第２回定例会が招集されたところ、議員各位には極めてご多用の折、ご参集いただき開会できますことに対して、心よりお礼を申し上げます。

本定例会には特別委員会の設置、人事案件及び補正予算案等、重要案件が提案される予定になっております。どうか議員各位におかれましては、格別なるご精励をもってご審議をお願いしたいと思います。

会期中、町長はじめ執行部各位におかれましても、一層のご協力をお願いいたしまして、開会の挨拶といたします。

着座にて進めたいと思います。

なお、齋藤貴史議員からコロナ感染の連絡があり、厚生労働省推奨や町職員の対応方針に基づき、発症日より５日間欠席をお願いし、本人からも欠席届が提出されておりますので申し添えます。

なお、齋藤貴史議員より一般質問、通告書の提出をメールでよいかという質問がありましたので、今回については議長の判断により特例で認めました。受付の順番については最後といたします。

これについてご質疑はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしの声、それではそのようにさせていただきます。

今後につきましては、議会運営委員会でこの方法を含めて協議をお願いしたいと思っております。

また、本日は傍聴の申出があり、これを許可いたしました。

傍聴される方に申し上げますが、受付の際にお渡しした傍聴人心得をお守りの上、静粛に傍聴されますようよろしくお願いいたします。また、傍聴席にございます議案等の傍聴用資料は、お帰りの際にはお返しくделаいますよう、併せてお願いいたします。

◎町長挨拶

○議長（佐藤聡一君） 開会に当たり町長の挨拶をお願いいたします。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） おはようございます。

令和5年第2回定例会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、公私共にご多用のところご出席を賜り、ここに開催できますことを心より厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は5月8日から5類感染症に移行されましたが、当町では6月13日からワクチン接種、集団接種を開始して、引き続き、町民の皆様が安心して日常生活が送れるよう感染防止対策を講じてまいります。

さて、本定例会では、副町長の選任についてなど人事案件6件、令和4年度東吾妻町一般会計繰越明許費繰越計算書についてなど報告関係2件、東吾妻町犯罪被害者等支援条例についてなど条例関係5件、令和5年度東吾妻町一般会計補正予算など予算関係2件、工事請負契約の締結についてなどその他2件、合計17件を提案させていただく予定でございます。

慎重かつ熱心なご審議をいただき、全てを原案どおりご議決を賜りますようお願い申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

◎開会及び開議の宣告

○議長（佐藤聡一君） ただいまより令和5年第2回定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

（午前10時04分）

◎議事日程の報告

○議長（佐藤聡一君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

議事日程に従い会議を進めてまいります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（佐藤聡一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員の指名は、会議規則第125条の規定により、5番、井上日出来議員、6番、高橋弘議員、7番、高橋徳樹議員にお願いいたします。

◎会期の決定

○議長（佐藤聡一君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から6月15日までの10日間とし、その日程はお手元に配付の日程表のとおりとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認め、会期は10日間とし、その日程は日程表のとおりとすることに決定いたしました。

町政一般質問通告書の提出期限は、6月7日正午までといたしますので、よろしくお願いいたします。

一般質問通告書の内容が具体性に欠け、要旨が明確に分からない場合、または町の事務の範囲外の場合は、通告書が受理できないことがありますので、あらかじめ申し上げます。

なお、執行部におかれましても、誠実、簡明な答弁に努めていただき、活発で能率的な議会運営にご協力くださいますようお願い申し上げます。

◎諸般の報告

○議長（佐藤聡一君） 日程第3、諸般の報告をいたします。

前期定例会に報告以降、議長としての報告事項は印刷をしてお手元に配付のとおりであります。後ほどご覧いただきまして、議会活動、また議員活動に資していただければと思います。

なお、町長より東吾妻町議会採択請願・陳情処理経過一覧が提出されましたので、併せて配付してありますのを申し添えます。

以上で諸般の報告を終わります。

◎議員派遣の件について

○議長（佐藤聡一君） 日程第４、議員派遣の件についてを議題といたします。

６月３０日開催、群馬県町村議会議長会主催、新議員研修会については、会議規則第１２７条第１項の規定により、お手元に配付した議員派遣の件のとおり決定したいと思います。

ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認め、お手元に配付したとおり、決定いたしました。

なお、後日、内容等に変更が生じた場合は議長に一任されたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認め、したがって内容等に変更が生じた場合は議長に一任することに決定いたしました。

去る５月１８日及び１９日に開催した当議会主催の新議員研修会について、３番、増子京子議員より報告願います。

３番、増子京子議員、前のほうへ。

（３番 増子京子君 登壇）

○３番（増子京子君） 皆様、おはようございます。

先月行われました新議員研修会のご報告をさせていただきます。

５月１８日、１９日と２日間、役場３階、第１委員会室で同じく新議員の齋藤議員と共に、研修に参加させていただきました。

今回の研修で、各課の課長さんから業務内容、予算等をご説明いただきました。今までは

町民として日々生活を送っていましたが、課長さん方のお話を伺い、その陰には大変にご苦勞されていることがよく分かり、町を守っていただいているんだなということに気づかれました。

今後、議員活動をしていく中で、今回の研修をしっかりと生かしてまいりたいと思います。皆様、引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、新議員研修のご報告とさせていただきます。

○議長（佐藤聡一君） 増子京子議員の報告を終わります。

以上で、議員派遣の件についてを終わります。

◎発委第1号の上程、説明、質疑、自由討議、討論、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第5、発委第1号 議会広報特別委員会設置に関する決議についてを議題といたします。

提出者は趣旨説明をお願いいたします。

議会運営委員長。

（議会運営委員長 樹下啓示君 登壇）

○議会運営委員長（樹下啓示君） おはようございます

それでは、発委第1号ということで、報告をさせていただきます。

議会広報特別委員会設置に対する発委ということで、発委第1号 議会広報特別委員会の設置についての趣旨説明をさせていただきます。

この特別委員会につきましては、5月25日の議会運営委員会、31日の議員全員協議会、議会運営委員会で、議員の皆さんにご協議をいただき、本日提案をするものであります。

名称は議会広報特別委員会。

付託調査事項につきましては、議会広報に関する調査・研究であります。

議員の定数は7名。

調査期間につきましては、本件が所要の議決をするまでとなっておりますけれども、紙面の充実及び定例会ごとの広報発行について活動していただきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

以上、趣旨説明とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおり、これを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議会広報特別委員会委員の選任について

○議長（佐藤聡一君） 日程第6、議会広報特別委員会委員の選任についてを議題といたします。

議会広報特別委員会委員の選任につきましては、委員会条例第7条の規定により、それぞれ次のように指名をしたいと思います。

朗読を願います。

事務局長。

○事務局長（西山孝弘君） それでは、朗読させていただきます。

氏名、齋藤貴史委員、増子京子委員、渡一美委員、井上日出来委員、高橋徳樹委員、重野能之委員、里見武男委員。

○議長（佐藤聡一君） ただいま朗読のとおり選任したいと思いますが、これにご異議ござい

ませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(佐藤聡一君) 異議なしと認めます。

したがって、ただいま朗読のとおり、それぞれ議会広報特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

以上で、議会広報特別委員会委員の選任についてを終わります。

ここで休憩を取り、委員長・副委員長の互選のための委員会を第一委員会室で開催していただきたいと思います。

委員長の互選は、委員会条例第9条第2項の規定により、年長委員が務めることになっておりますので、年長委員さんよろしく願いいたします。

なお、委員長決定後の副委員長の互選は、就任された委員長が進行してください。互選が終わり次第、本会議を再開いたします。

暫時休憩を取ります。

(午前10時15分)

○議長(佐藤聡一君) 再開いたします。

(午前10時17分)

◎議会広報特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告

○議長(佐藤聡一君) 日程第7、議会広報特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告を議題といたします。

ただいま議会広報特別委員会において、委員長・副委員長の互選結果の報告が出ましたので、事務局長からこれを発表させていただきます。

朗読を願います。

事務局長。

○議会事務局長(西山孝弘君) それでは、議会広報特別委員会委員長、里見武男委員、副委

員長、井上日出来委員。

○議長（佐藤聡一君） ただいま発表のとおり、議会広報特別委員会委員長・副委員長が決定をいたしました。

以上で、議会広報特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告を終わります。

なお、特別委員会の構成が決まりましたので、特別委員会の開催状況などが入った日程については昼休みにお配りいたします。

◎選挙第1号

○議長（佐藤聡一君） 日程第8、選挙第1号 烏帽子山植林組合議会議員の補欠選挙を行います。

お諮りいたします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選にしたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選の方法を取ることに決定いたしました。

お諮りいたします。指名推選の方法については、議長において指名することとしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

したがって、議長において指名することに決定いたしました。

烏帽子山植林組合議会議員に、増子京子議員、渡一美議員、井上日出来議員、高橋徳樹議員を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名をいたしました増子京子議員、渡一美議員、井上日出来議員、高橋徳樹議員を烏帽子山植林組合議会議員の当選者と定めることに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

したがって、ただいま議長が指名いたしました4人が、烏帽子山植林組合議会議員に当選

されました。

◎同意第1号の上程、説明、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第9、同意第1号 東吾妻町副町長の選任についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

○町長（中澤恒喜君） 同意第1号 東吾妻町副町長の選任について、提案理由の説明を申し上げます。

現在の渡辺副町長は6月7日をもって任期満了となりますが、新たに石村文明さんにその任に当たっていただきたいと考えております。

石村さんは、早稲田大学を卒業後、昭和57年4月に群馬県庁に入職し、県土整備部参事、監理課長を最後に、平成30年3月に36年間勤務いたしました群馬県庁を退職され、令和4年7月1日からは町の監査委員を務めていただいております。行政経験は豊富で、人格、見識ともに最適任者であると考えておりますので、ご同意くださるようお願い申し上げます。

なお、ご同意いただければ6月8日付で選任をする予定でおりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件につきましては、人事案件ですので、質疑、自由討議、討論を省略して、直ちに採決を行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

お諮りいたします。本件については、原案のとおり、これを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） したがって、本件は同意されました。

◎同意第2号の上程、説明、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第10、同意第2号 東吾妻町監査委員の選任についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○町長（中澤恒喜君） 同意第2号 東吾妻町監査委員の選任について、提案理由の説明を申し上げます。

監査委員は、地方自治法第196条第1項の規定により、町長が議会の同意を得て、人格が高潔で、普通地方公共団体の財務管理事業の経営管理等に優れた識見を有する者及び議員の内からそれぞれ1名選任することとなっております。

このたび識見委員の石村文明さんを副町長に任命する予定でありますので、その後任として、岩井在住の剣持伊佐男さんをお願いしたいと考えております。

剣持さんは昭和52年3月に日本大学農獣医医学部を卒業した後、昭和59年4月に群馬県庁に入職し、西部農業事務所所長を最後に、平成27年3月に31年間勤務をいたしました群馬県庁を退職されました。人格、識見とも適任であると考えておりますので、ご同意いただければ所定の手続を踏みまして、6月8日付で選任をする予定であります。

以上でございます。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件については、人事案件ですので、質疑、自由討議、討論を省略して、直ちに採決したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は同意されました。

◎同意第3号の上程、説明、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第11、同意第3号 東吾妻町監査委員の選任についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

町長。

○町長（中澤恒喜君） 同意第3号 東吾妻町監査委員の選任について、提案理由の説明を申し上げます。

現在、議員のうちから選任した監査委員の任期が満了となっておりますので、議会の同意を得て選任したいと考えております。

議員の齋藤貴史さんは人格も高潔であり、識見も豊富でございます。監査委員として適任者であると存じますので、ご同意くださるようお願い申し上げます。

なお、ご同意いただければ、速やかに選任する予定でおりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件につきましては、人事案件ですので、質疑、自由討議、討論を省略して、直ちに採決したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は同意されました。

◎同意第4号の上程、説明、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第12、同意第4号 東吾妻町教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

町長。

○町長（中澤恒喜君） 同意第4号 東吾妻町教育委員会委員の任命について、提案理由の説明を申し上げます。

教育委員は、地方教育行政法第4条の規定により、人格が高潔で、教育、学術、文化に関し識見を有する者のうちから、議会の同意を得て町長が任命するものでございます。任期は4年であります。

現在、教育委員としてお世話になっております高橋通泰さんは6月20日をもって任期満了となりますが、引き続き委員として任命したいと考えております。

高橋さんは、令和3年6月21日に教育委員に就任をされ、現在、教育長職務代理者を務め、知識と経験を備えていることから適任者であると考えておりますので、ご同意くださるようお願い申し上げます。ご同意いただければ6月21日付で任命する予定でおりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件につきましては、人事案件ですので、質疑、自由討議、討論を省略して、直ちに採決を行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

お諮りいたします。本件については、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は同意されました。

◎同意第5号及び同意第6号の上程、説明、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第13、同意第5号 東吾妻町懲戒審査委員会委員の選任について及び日程第14、同意第6号 東吾妻町懲戒審査委員会委員の選任についてを一括議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

○町長（中澤恒喜君） 同意第5号、同意第6号 東吾妻町懲戒審査委員会委員の選任について、関連がございますので一括して提案理由の説明を申し上げます。

懲戒審査委員会委員は、職員の懲戒処分について審査をしていただく諮問機関の委員でございます。懲戒審査委員会設置規則第2条の規定により、委員は3名で組織され、学識経験を有する者のうちから2人を議会の同意を得て町長が任命するものでございます。任期は2年と規定をされております。

今回、お願いする方は、平成29年から委員としてお世話になっております二階堂慎さんと、令和元年から委員としてお世話になっております萩本強志さんで、お二人とも弁護士で、適任者と考えております。ご同意いただければ6月30日付で任命する予定でおりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件については、人事案件ですので、質疑、自由討議、討論を省略して、直ちに採決したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

それでは、最初に同意第5号の採決を行います。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は同意されました。

次に、同意第6号の採決を行います。

お諮りいたします。本件につきましては、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立を願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は同意されました。

◎報告第1号の上程、説明、質疑

○議長（佐藤聡一君） 日程第15、報告第1号 令和4年度東吾妻町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてを議題といたします。

説明をお願いします。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 報告第1号 令和4年度東吾妻町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について、説明を申し上げます。

この繰越明許費繰越計算書につきましては、令和4年度中において議決いただきました繰越明許費補正の計算書でございます。一覧表のとおり、14事業ありまして、繰越事業費の繰越額及び財源内訳となっております。

以上、ご報告申し上げます。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

以上で本件の報告を終了いたしました。

◎報告第2号の上程、説明、質疑

○議長（佐藤聡一君） 日程第16、報告第2号 令和4年度東吾妻町地域開発事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告についてを議題といたします。

説明をお願いします。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 報告第2号 令和4年度東吾妻町地域開発事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告についての説明を申し上げます。

この繰越明許費繰越計算書につきましては、3月議会においてご議決いただきました繰越

明許費補正の計算書でございます。繰越事業費の繰越額及び財源内訳となっております。

以上、ご報告申し上げます。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

以上で本件の報告を終了いたしました。

◎議案第3号の上程、説明、議案調査

○議長（佐藤聡一君） 日程第17、議案第3号 東吾妻町犯罪被害者等支援条例についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第3号 東吾妻町犯罪被害者等支援条例について、提案理由の説明を申し上げます。

犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等への支援の基本となる事項を定め、支援を総合的かつ計画的に推進して、町民の皆様が安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的に、条例を制定するものでございます。

詳細につきましては、担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようよろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、担当課長の説明をお願いします。

総務課長。

○総務課長（関 和夫君） お世話になります。

それでは、東吾妻町犯罪被害者等支援条例について説明させていただきます。

初めに、第1条は、目的でございます。犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等の支援に関する基本理念や支援の基本となる事項を定めることにより、町民が安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的としております。

第2条は、用語の定義です。

第3条は基本理念で、犯罪被害者、個人の尊厳やその尊厳にふさわしい処遇を保障される権利が尊重されることを旨として、二次的被害等が生ずることがないように十分な配慮や関係機関の相互連携などを規定しております。

第4条は町の責務、第5条は、町民等及び事業者の役割を規定しております。

第6条は、犯罪被害者等が日常生活または社会生活を円滑に営むことができるよう各般の問題について相談や必要な情報提供、助言を行うなど、町の役割を規定しております。

第7条は、経済的な支援措置を行う旨の規定です。

第8条は居住の安定で、犯罪被害者等に対する町営住宅への入居の配慮や必要な支援を行う旨の規定となります。

第9条は、犯罪被害者等が犯罪を誘発した場合に支援を行わないことができる旨の規定、第10条は、委任規定でございます。

先ほどの第7条の経済的な支援といたしましては、一般会計補正予算（第2号）に計上させていただいておりますが、犯罪行為により死亡した犯罪被害者の遺族に対し、30万円の遺族見舞金と、犯罪行為により重傷病を負った犯罪被害者本人に対し、10万円の重傷病見舞金を支給する支援でございます。

群馬県内の自治体でも、既に同様の支援措置を講じている団体は9市町村ございまして、吾妻郡内の6か町村では今6月定例会に足並みをそろえて上程することを申し合わせております。

以上、簡単ですが、説明とさせていただきます。

よろしく申し上げます。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。6月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第4号の上程、説明、議案調査

○議長（佐藤聡一君） 日程第18、議案第4号 東吾妻町税条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

(町長 中澤恒喜君 登壇)

○町長（中澤恒喜君） 議案第4号 東吾妻町税条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の改正は、地方税法等の一部を改正する法律及び道路交通法の一部を改正する法律の施行を受け、特定小型原動機付自転車の税率等について新たに規定するものでございます。

詳細につきましては担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、担当課長の説明を願います。

税務課長。

○税務課長（堀込恒弘君） よろしくお願いいたします。

詳細についてご説明申し上げます。

本議案につきましては、町長提案説明のとおり、地方税法及び道路交通法の一部改正を受け、一般的には電動キックボードと言われている特定小型原動機付自転車の税率等を新たに規定するものでございます。

改正内容についてご説明させていただきますので、新旧対照表をご覧ください。

軽自動車等に対する種別割の税率を規定する第82条では、第1号エにおいて、改正後は、「及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）第1条第1項第13号の6に規定する特定小型原動機付自転車」を加えております。この改正によりまして、3輪の特定小型原動機付自転車は種別割の税率、年額3,700円を規定する第1号エから除外され、新旧対照表では略されておりますが、第1号アに規定されております種別割の税率、年額2,000円に該当してまいります。標識の交付等を規定する第91条では、見出し中、原動機付自転車及び小型特殊自動車を一般原動機付自転車、小型特殊自動車及び特定小型原動機付自転車に改め、第1項、第2項及び第5項から第7項までの規定中、原動機付自転車または小型特殊自動車を一般原動機付自転車、小型特殊自動車または特定小型原動機付自転車に改めます。

この改正によりまして、従前の標識交付事務に特定小型原動機付自転車の標識交付事務も新たに追加されることとなります。

新旧対照表での説明は以上でございます。

戻りまして改め文の附則をお願いいたします。

第1条、施行期日でございますが、この条例は令和5年7月1日から施行するものでございます。

第2条では、軽自動車税に関する経過措置を規定いたしております。

以上で説明とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。6月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第5号の上程、説明、議案調査

○議長（佐藤聡一君） 日程第19、議案第5号 東吾妻町手数料徴収条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第5号 東吾妻町手数料徴収条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の改正は、土地改良事業確定測量成果を地籍図と同様に徴収するものでございます。

詳細につきましては、担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、担当課長の説明を願います。

農林課長。

○農林課長（角田良信君） お世話になります。

東吾妻町手数料徴収条例の一部を改正する条例について、説明を申し上げます。

新旧対照表をご覧ください。

今回の改正は、土地改良事業区域内の確定測量成果の閲覧に対する手数料を地籍図閲覧料と同様に、小字ごとに300円徴収を行うものでございます。

以上、簡単ですが、説明とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。6月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第6号の上程、説明、議案調査

○議長（佐藤聡一君） 日程第20、議案第6号 東吾妻町保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第6号 東吾妻町保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の改正は、地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき、町立保育所の設置及び管理に関して、必要な事項を定めている町条例の一部改正になります。

詳細につきましては、担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、担当課長の説明を願います。

学校教育課長。

○学校教育課長（谷 直樹君） お世話になります。

詳細について、ご説明させていただきます。

本議案につきましては、語句の訂正をお願いするものでございます。

それでは、新旧対照表をご覧ください。

第8条、利用者負担額等において「使用料」を「利用料」に訂正するものでございます。

提供される保育サービスを利用していることから、利用料とするものでございます。

また改め文の附則のとおり、この条例は公布の日から施行を予定してございます。

説明は以上でございます。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。6月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第7号の上程、説明、議案調査

○議長（佐藤聡一君） 日程第21、議案第7号 東吾妻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第7号 東吾妻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の改正は、児童福祉法第34条の8の2第2項の厚生労働省令で定める基準に基づき、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めている町条例の一部改正になります。

詳細につきましては、担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、担当課長の説明を願います。

学校教育課長。

○学校教育課長（谷 直樹君） 詳細についてご説明させていただきます。

本議案につきましては、町長の提案説明にありましたとおり、児童福祉法第34条の8の2第2項の厚生労働省令で定める基準に基づき、町条例を改正するものでございます。

それでは、新旧対照表をご覧ください。

附則第2条、職員の経過措置について、放課後児童支援員の資格要件について、経過措置の期間を延長し、期限を令和8年3月31日までといたします。

また、内容を示す条文を第12条第3項と修正するものでございます。

なお、改め文の附則にございますとおり、施行期日を公布の日から施行し、令和5年4月1日適用を予定しております。

説明は以上です。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。6月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第1号の上程、説明、議案調査

○議長（佐藤聡一君） 日程第22、議案第1号 令和5年度東吾妻町一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第1号 令和5年度東吾妻町一般会計補正予算（第2号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正予算案は、歳入歳出をそれぞれ1億6,880万9,000円増額し、予算の総額を85億4,472万円とするものでございます。4月の人事異動に伴う人件費の補正のほか、物価高騰の影響を受ける町民皆様の家計負担の軽減と、消費を下支えするための事業費が主なものとなっております。そのほかに、地方債の限度額を補正するものでございます。

詳細につきましては、担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、担当課長の説明を願います。

企画課長。

○企画課長（水出 悟君） お世話になります。

一般会計補正予算書の1ページをお願いいたします。

第1条は、予算の総額を定めるほか、款項の区分ごとの金額を定めるものでございます。

第2条は、地方債を変更補正するものでございます。

4ページをお願いします。

第2表の地方債補正でございますが、ご覧のとおり2件の事業について、地方債の限度額

を増額変更するものでございます。

7 ページをお願いいたします。

事項別明細書になります。

まず、歳入でございます。

11款 1 項 1 目地方交付税は、普通地方交付税を6,118万7,000円増額するものでございます。

15款 2 項 1 目総務費国庫補助金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の食料品等価格高騰重点支援地方交付金分として9,406万5,000円を見込みました。

3 目衛生費国庫補助金は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金を478万5,000円減額するものでございます。

16款 3 項 1 目総務費県委託金は、住宅・土地統計調査委託金を4万2,000円増額するものでございます。

22款 1 項 2 目民生債は、学童保育施設整備事業債を260万円追加。

4 目土木債は、道路整備事業債を1,570万円追加するものでございます。

以上が歳入となります。

歳出につきましては、各担当課長よりそれぞれ説明いたしますのでよろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 総務課長。

○総務課長（関 和夫君） それでは8 ページをご覧ください。

1 款 1 項 1 目議会費につきましては、合計で84万9,000円の減額となります。説明欄をご覧ください。4 月の人事異動などに伴う人件費補正でございます。当初予算の人件費は、昨年12月現在の人員を基に予算編成しておりますので、今回、その補正をお願いするものでございます。

このあと各項目ごとに計上された人件費補正につきましても、同様の内容ですので、各課長からの人件費に係る内容説明は割愛させていただきます。

続きまして、2 款 1 項 1 目一般管理費の職員人件費につきましては、合計で342万6,000 円の減額となります。

よろしくお願いします。

○議長（佐藤聡一君） 会計課長。

○会計課長（武井幸二君） お世話になります。

4目会計管理費でございますが、会計管理事業へ51万3,000円の追加のお願いでございます。職員時間外勤務手当、またデータ伝送回線使用料でございます。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 総務課長。

○総務課長（関 和夫君） 続きまして、5目財産管理費につきましては、合計で165万4,000円の追加となります。説明欄をご覧くださいまして、庁舎管理事業につきましては役場庁舎の清掃業務委託料98万3,000円の追加、その他財産管理事業につきましては67万1,000円追加のお願いでございます。こちらは群馬県建設技術センターの単価改定に伴うもので、測量設計管理委託料を48万4,000円、公共施設マネジメント支援業務委託料を18万7,000円追加するものでございます。

続きまして、12目簡易郵便局費につきましては、合計で322万2,000円の追加となります。よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（酒井文彰君） お世話になります。

17目地域活性化対策費、共済費に2,000円の追加でございます。地域活性化事業及び吾妻溪谷活性化対策事業にそれぞれ1,000円の追加となりますが、会計年度任用職員共済組合負担金及び社会保険料の追加調整によるものでございます。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 総務課長。

○総務課長（関 和夫君） 続きまして、20目諸費につきましては、防犯事業といたしまして見舞金40万円の追加でございます。こちらは先ほど犯罪被害者等支援条例の中で説明をさせていただきました遺族見舞金30万円、重傷病見舞金10万円をそれぞれ1件分として計上をさせていただきました。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 税務課長。

○税務課長（堀込恒弘君） 10ページをお願いいたします。

2項町税費、1目税務総務費では、人事異動に伴う人件費710万6,000円の減額のお願いでございます。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 町民課長。

○町民課長（寺嶋正春君） 3項1目戸籍住民基本台帳費ですが、1,204万円の追加のお願いでございます。説明欄をご覧ください。職員人件費は人事異動に伴う1,119万4,000円の増額補正でございます。住基ネット・公的個人認証の84万6,000円の追加につきましては、デジタル手続法による住民基本台帳法及び戸籍法の一部改正に基づき、戸籍附票と個人番号制度を連携させることに伴い、住民基本台帳ネットワークシステムのコミュニケーションサーバーの領域が不足をするため、メモリーの増設やウイルス対策強化などへの対応が必要となったため、業務委託料などの追加をお願いするものです。

よろしく申し上げます。

○議長（佐藤聡一君） 企画課長。

○企画課長（水出 悟君） 11ページをお願いします。

5項2目統計調査費は、住宅・土地統計調査事業に調査員報酬、通信運搬費など7万円を追加するものでございます。

○議長（佐藤聡一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（小池さつき君） 3款民生費、1項1目の社会福祉総務費4,340万3,000円の追加のお願いでございます。社会福祉事業の人事異動による人件費については説明を省かせていただきます。

12ページの説明欄をご覧ください。

低所得世帯支援給付金給付事業5,242万4,000円の追加につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における価格高騰重点支援給付として、住民税非課税世帯に対する支援枠によるものでございます。給付金対象世帯は令和5年度分の住民税非課税世帯として1世帯当たり3万円、前年度の実績等から最大で1,700世帯を見込んでおります。ほかは、それに伴うシステム改修委託料や郵送料等でございます。

4目老人福祉費、地域包括支援センター事業は、人事異動による人件費補正でございます。よろしく願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） ここで休憩を取りたいと思います。

再開を11時10分といたします。

（午前10時59分）

○議長（佐藤聡一君） 再開いたします。

（午前 11 時 09 分）

○議長（佐藤聡一君） 続いて、町民課長。

○町民課長（寺嶋正春君） 12ページ、3款1項6目国民健康保険費ですが、人事異動に伴う人件費383万8,000円の減額補正でございます。

よろしく申し上げます。

○議長（佐藤聡一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（谷 直樹君） よろしく申し上げます。

13ページをお願いいたします。

2目保育所費では、保育所運営事業857万9,000円の減額のお願いでございます。人事異動に伴う人件費でございます。

続いて、学童保育費では、学童保育事業262万9,000円の追加のお願いでございます。人事異動に伴う社会保険料の減額、測量設計管理委託料の追加のお願いでございます。

よろしくをお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（小池さつき君） 4款衛生費、1項1目保健衛生総務費は人事異動に伴う人件費の減額でございます。

14ページをご覧ください。

2目予防費は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費478万5,000円の減額でございます。主には令和5年度の追加接種に対し、会計年度任用職員を当初2名体制と予定しておりましたが、1名で対応することとなった分の人件費減額と、ワクチン予約システム使用料の長期継続利用割引による減額でございます。

よろしくをお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 農林課長。

○農林課長（角田良信君） 6款1項1目の農業委員会費38万2,000円の追加のお願いでございます。人事異動等に伴う人件費の増額でございます。

15ページをお願いします。

2目農業総務費143万7,000円の減額のお願いでございます。人事異動に伴う人件費の減額でございます。

続きまして、6目農地費では400万円の追加のお願いでございます。本宿・霜田地区の測量設計管理委託料の追加でございます。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（酒井文彰君） 7款1項1目商工総務費27万円の追加につきましては、商工観光係職員4名に係る人件費及び手当、共済費等の追加調整でございます。

16ページに移りまして、2目商工振興費、緊急経済対策商品券支給事業に総額で1億2,901万5,000円の追加でございます。エネルギー価格や食料品価格高騰などの影響を受ける町民生活への影響緩和を目的とし、くらし応援商品券の支給を計画するものでございます。

3節職員手当20万円は商品券発給事務に従事する職員の時間外勤務手当、10節需用費165万円は商品券及びポスター等の印刷代、11節役務費239万5,000円は商品券の郵送料等でございます。18節負担金補助及び交付金1億2,477万円は登録店舗で使用された商品券の換金に要する費用でございます。

事業実施の方法ですが、昨年度と同様、1人当たり1万円分のくらし応援商品券を6月1日現在で住民登録のある町民全員に支給する計画でございます。使用期限につきましては、令和6年1月31日までとする予定です。商品券は7月下旬の発送を目途に準備を進めてまいりたいと考えております。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 建設課長。

○建設課長（福原治彦君） 大変お世話になります。

8款1項1目道路橋りょう総務費468万7,000円の減額のお願いでございます。人事異動に伴うものでございます。

4目橋りょう維持費1,569万8,000円の追加でございます。この沼尾大橋、岡崎地区から渋川市の祖母島地区に架かっている沼尾大橋の補修事業につきましては、令和4年度より事業を実施しておりますが、事業実施する中で工事の変更に伴い増額というふうなことで、渋川市が発注しておるんですが、それに伴う増額ということになります。

以上ですが、よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 上下水道課長。

○上下水道課長（高橋 篤君） お世話になります。

2項都市計画費、2目の下水道費です。27節の繰出金、下水道事業特別会計繰出金127万5,000円の減額のお願いでございます。これにつきましては、下水道事業特別会計補正予算のほうで説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長（佐藤聡一君） 学校教育課長。

○学校教育課長（谷 直樹君） 続きまして、10款1項2目事務局費です。右側の説明欄をご覧ください。事務局費314万9,000円の減額のお願いでございます。こちらも人事異動に伴う人件費でございます。

次のページをお願いいたします。

外国語教育コーディネーター事業45万1,000円の追加は、コーディネーター任用に伴う人件費補正でございます。

続きまして、5目給食センター運営管理費です。762万4,000円の減額のお願いでございます。こちらも人事異動に伴う人件費補正でございます。

次に、6目外国青年招致事業費、こちらも人件費補正27万1,000円の追加のお願いでございます。

次に、2項小学校費、1目小学校学校管理費です。学校管理費（事務局分）について人件費補正の40万2,000円の減額のお願いでございます。

次に、3項中学校費、1目中学校学校管理費です。こちらも学校管理費（事務局分）について人件費補正11万9,000円の減額のお願いでございます。

次に、4項こども園費、1目こども園管理費です。こども園管理費（事務局分）について、こちらも人事異動に伴う人件費補正1,041万3,000円の追加のお願いとなります。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 社会教育課長。

○社会教育課長（加藤俊夫君） お世話になります。

20ページをお願いいたします。

10款5項1目社会教育総務費171万2,000円の減額につきましては、人事異動によるものでございます。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。6月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第2号の上程、説明、議案調査

○議長（佐藤聡一君） 日程第23、議案第2号 令和5年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第2号 令和5年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回、補正をお願いする額は、歳入歳出それぞれ127万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を5億3,835万2,000円とするものでございます。

詳細につきましては、担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、担当課長の説明を願います。

上下水道課長。

○上下水道課長（高橋 篤君） お世話になります。

下水道事業特別会計補正予算の説明をさせていただきます。

予算書の4ページ、一番最後のページになろうかと思えますけれどもお願いいたします。

初めに、歳入でございます。

5款繰入金、1項1目一般会計繰入金127万5,000円の減額のお願いでございます。

続いて、歳出でございます。

1款総務費、1項1目の一般管理費127万5,000円の減額のお願いでございます。これは4月の人事異動に伴う人件費の減額でございます。

以上でございます。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。6月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第8号の上程、説明、議案調査

○議長（佐藤聡一君） 日程第24、議案第8号 工事請負契約の締結についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第8号 工事請負契約の締結について、提案理由の説明を申し上げます。

旧坂上小学校の体育館・調理場・公仕室を解体する工事の請負契約についてご審議願うものでございます。

指名競争入札により池原工業株式会社と6,457万円で仮契約を締結しております。

詳細につきましては、担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようよろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、担当課長の説明を願います。

総務課長。

○総務課長（関 和夫君） お世話になります。

こちら、お手元の議案書につきまして差し替えをお願いしたいと思います。仮契約書の内容に誤りがございましたので、今回、差し替えということでお願いいたします。

それでは、旧坂上小学校体育館・調理場・公仕室解体工事の概要について説明をさせていただきます。

体育館は鉄骨造平屋建て584平方メートル、給食調理場は鉄骨造平屋建て226平方メートル、公仕室は木造平屋建て43.56平方メートルでございます。そのほか外構として、倉庫4棟、それから校門、フェンス、遊具等の除去、また樹木の伐採処分を含めた解体工事となります。

工期につきましては、来年1月31日までを予定しております。

坂上小学校は昭和49年に坂上地区内、5つの小学校が統廃合により誕生しました。平成28年4月からは小学校機能を当時、隣にありました中学校校舎を改修しまして移管したため、同年に旧坂上小学校の校舎を解体しております。その後、旧坂上小学校体育館・調理場・公仕室はそのままの状態に残置されておりましたが、築50年ほどが経過し、老朽化が著しいため、このたび解体するものでございます。

説明は以上となります。

よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。6月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第9号の上程、説明、議案調査

○議長（佐藤聡一君） 日程第25、議案第9号 物品購入契約の締結についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第9号 物品購入契約の締結について、提案理由の説明を申し上げます。

東吾妻町消防団第1分団第1部の消防ポンプ自動車の購入についてご審議願うものでございます。

見積り合わせによる随意契約により、前橋市にあります株式会社佐藤工業所と3,179万円で仮契約を締結したものでございます。

詳細につきましては担当課長より説明させますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、担当課長の説明を願います。

総務課長。

○総務課長（関 和夫君） 今回購入する車両は、原町地区に配備するもので、現在使用して

いる消防ポンプ自動車は、平成12年10月に初年度登録を行い、既に22年が経過しております。そのため老朽化が進み、適切な消防活動に支障を来す恐れがあるため、今回更新するものでございます。

購入に当たりましては、消防団の本団及び第一分団関係者と協議を重ね、仕様書を作成しております。

議案書の一番後ろのページに、今回、購入を予定している消防車両の図面を添付しております。車両に真空ポンプを一体化させた完成車両となります。

納期につきましては、今年度末を予定しております。

説明は以上ですが、よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。6月13日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎陳情書の処理について

○議長（佐藤聡一君） 日程第26、陳情書の処理についてを議題といたします。

さきの議会運営委員会までに受け付けた陳情書は、お手元に配付した陳情文書表のとおり総務建設常任委員会に付託しますので、その審査を6月13日までに終了するようお願いいたします。

陳情書の処理についてを終わります。

◎散会の宣告

○議長（佐藤聡一君） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

議員各位にお願い申し上げます。

本定例会に提案されました議案につきましては、時間を有効的に活用し、十分調査くださるようお願い申し上げます。

なお、次の本会議は6月14日午前10時から会議を開きますから、ご出席をお願いいたし

ます。

本日はこれをもって散会いたします。

大変お疲れさまでした。

(午前 11 時 26 分)

令和 5 年 6 月 14 日（水曜日）

（第 2 号）

令和5年東吾妻町議会第2回定例会

議 事 日 程（第2号）

令和5年6月14日（水）午前10時開議

- 第 1 議案第 3号 東吾妻町犯罪被害者等支援条例について
- 第 2 議案第 4号 東吾妻町税条例の一部を改正する条例について
- 第 3 議案第 5号 東吾妻町手数料徴収条例の一部を改正する条例について
- 第 4 議案第 6号 東吾妻町保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 第 5 議案第 7号 東吾妻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 第 6 議案第 1号 令和5年度東吾妻町一般会計補正予算（第2号）
- 第 7 議案第 2号 令和5年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 第 8 議案第 8号 工事請負契約の締結について
- 第 9 議案第 9号 物品購入契約の締結について
- 第10 議員派遣の件について
- 第11 陳情書の委員会審査報告
- 第12 委員会報告について
- 第13 発委第 2号 予算決算特別委員会設置に関する決議について
- 第14 予算決算特別委員会委員の選任について
- 第15 予算決算特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告
- 第16 閉会中の継続審査（調査）事件について
- 第17 町政一般質問

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（12名）

1 番 佐 藤 聡 一 君

2 番 齋 藤 貴 史 君

3 番 増 子 京 子 君
 5 番 井 上 日 出 来 君
 7 番 高 橋 徳 樹 君
 9 番 小 林 光 一 君
 1 1 番 竹 淵 博 行 君

4 番 渡 一 美 君
 6 番 高 橋 弘 君
 8 番 里 見 武 男 君
 1 0 番 重 野 能 之 君
 1 2 番 樹 下 啓 示 君

欠席議員（なし）

地方自治法第 1 2 1 条第 1 項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	中 澤 恒 喜 君	副 町 長	石 村 文 明 君
教 育 長	山 野 邦 明 君	総 務 課 長	関 和 夫 君
企 画 課 長	水 出 悟 君	ま ち づ く り 推 進 課 長	酒 井 文 彰 君
保 健 福 祉 課 長	小 池 さ つ き 君	町 民 課 長	寺 嶋 正 春 君
税 務 課 長	堀 込 恒 弘 君	農 林 課 長	角 田 良 信 君
建 設 課 長	福 原 治 彦 君	上 下 水 道 課 長	高 橋 篤 君
会 計 課 長 兼 会 計 管 理 者	武 井 幸 二 君	学 校 教 育 課 長	谷 直 樹 君
社 会 教 育 課 長	加 藤 俊 夫 君		

職務のため出席した者

議会事務局長 西 山 孝 弘
 議会事務局任主 田 中 康 夫

議会事務局補佐 西 巻 雅 子

◎開議の宣告

○議長（佐藤聡一君） 皆さん、おはようございます。よろしくお願いいたします。

ただいまより本日の会議を開きます。

（午前１０時００分）

◎議事日程の報告

○議長（佐藤聡一君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

議事日程に従い会議を進めてまいります。

◎議案第３号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第１、議案第３号 東吾妻町犯罪被害者等支援条例の件を議題といたします。

本件につきましては、去る６月６日議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第４号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第２、議案第４号 東吾妻町税条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本件については、去る６月６日議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第５号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第３、議案第５号 東吾妻町手数料徴収条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本件につきましては、去る６月６日議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第6号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第4、議案第6号 東吾妻町保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本件については、去る6月6日議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第7号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第5、議案第7号 東吾妻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本件については、去る6月6日議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第1号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第6、議案第1号 令和5年度東吾妻町一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

本件については、去る6月6日議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第2号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第7、議案第2号 令和5年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

本件については、去る6月6日議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第 8 号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第 8、議案第 8 号 工事請負契約の締結についてを議題といたします。

本件については、去る 6 月 6 日議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第 9 号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（佐藤聡一君） 日程第 9、議案第 9 号 物品購入契約の締結についてを議題といたします。

本件については、去る 6 月 6 日議案調査としてありますので、続いて質疑を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議員派遣の件について

○議長（佐藤聡一君） 日程第10、議員派遣の件についてを議題といたします。

去る5月23日に東京都で開催されました全国町村議会議長・副議長研修会について8番、里見武男議員より報告願います。

里見武男議員。

○副議長（里見武男君） 去る5月23日に東京国際フォーラムにて全国町村議長・副議長研修会が行われ、佐藤議長と私が出席しましたので報告いたします。

研修会では3名の講師により講話が行われ、一人目の講師には大正大学の江藤俊昭教授の町村議会の課題と今後の展望について講話されて、今年度実施された統一地方選挙についてのお話がありました。選挙に行けない、行かないといったいわば地域民主主義の危機がより深刻化した。そのため、引き続き投票率の低下と無投票当選者率の増加傾向を示しました。地方選挙においても立候補者が定員を下回る定員割れが続出。前回8町村の2.5倍の20町村に上がったことも今回の特徴であります。

議員の成り手不足の要因としては、議員にならない要因では、議会、議員の魅力が伝わらない、条件の悪さ、例えば低い議員報酬と、議員になれない要因として地域力の低下や法律

の縛り、一部緩和されましたが兼業の禁止などがあります。

解消の正攻法として住民の福祉の向上で地域力をアップし、議会議員の魅力の周知や報酬増額等条件整備や兼業禁止の緩和と議員の位置づけの明確化等の法律改正と市民との意見交換会、政策サポーター制度、議会モニターや議員の学校等選挙を意識した議会活動が紹介されました。

次に、町村こそデジタル化を、住民のためのデジタル活用法をテーマで若宮正子氏より講演がありました。

若宮氏は58歳からパソコンを独学で習得し、数々の政府主催会議の構成員を務め、現在87歳であります。若宮氏が海外では既に始まっている未来、いわゆるIT先進国の実情ということでデンマークへ調査に行ったときのことが紹介されました。

どうしてはるばるデンマークに行ったのかでは、国連の調査では幸せな国ランキングは一、二位の国である。ちなみに日本は62位であります。また、観光庁自治体で紙を一切使わないことを決めた国でもあることから、実情を調査することに決めました。

デンマークの税金については、消費税は食料品を含め25%で所得税、住民税、医療付加課税の合計が最大68%、自動車税は1台当たり150%となっており、税金はかなり高いようです。その代わり医療費は無料、小学校から大学まで教育費無料、失業保険も2年間現役時代の90%保証で老人ホームの費用は年金の範囲内で賄えるとのことでした。

そのような中、役所と国民の間での紙での郵送をやめて、いわゆる電子政府をつくりました。サポートしているのは、私駄目、できないという場合は家族が教える、手伝う、代行する、またはボランティアを募集し教えたりする。家族に頼れない人は自治体職員や高齢者施設の人が手伝うと対策を実施しております。

デンマークの国民性については、自立を貴ぶ、日本では老いては子に従えと言われるが、これは駄目で、例えば洗濯機や乾燥機の位置が自動で変えられたり、流しのシンクの位置も変えられるなど、極力本人にさせる。それと、官民とも透明を重んじる。隠し事をしない。例えば、「写真を撮っていいですか」では全てイエスと答えたり、「政府や国民を信頼する」では「人は信頼できますか」と思う人の割合ではデンマークが1位で81.7%で、日本は35%で24位となっております。

デンマークの例から私たちが学べることは、電子政府を進めるに当たって必ずしもその国の高度な技術を開発する力が求められているわけではないということらしいです。その代わり、デンマークが持っているのは国民の個人データを扱う政府への信頼感、そして、他人の

データを盗んで悪用しないであろうという社会への信頼感があると若宮氏は言っておりました。

次の講義は、朝日新聞社コンテンツ編成本部次長の三島あずさ氏により「地方議会とハラスメント」のテーマで講義を受講しました。

三島氏はジェンダーや地方議会のハラスメントについての問題について、朝日新聞の記者として取材をしてこられました。ダボス会議の報告書の中で世界各国の男女格差、いわゆるジェンダーギャップを比較した報告書では、日本は144か国中111位と大きく順位を下げています。日本は教育や健康の分野では比較的格差が小さいが、経済と政治の両分野では厳しい評価を受けた。国会議員の比率で122位、官民の高位職における女性の比率で113位、女性の専門的、技術的労働者の比率で101位とされました。また、過去50年間で日本の首相が出ていないことも低評価の一因でした。

報告では、日本について教育参加など改善が見られたものの、専門的、技術的労働者の男女比率が著しく拡大していると指摘されました。

議会のハラスメントでは、令和2年度に内閣府男女共同参画局が地方議員を対象に政治参画を阻む要因を調査した結果、議員活動や選挙活動中に有権者の支援者、議員等からハラスメントを受けたという質問に対して、男性の32.5%、女性の57.6%がいずれかのハラスメントを受けたと回答しております。事例として、「女性が入れたお茶のほうおいしいからね」や「美し過ぎる議員、頑張れ」などが指摘されました。三島氏は女性記者と女性議員の体験が共通しているとも話されました。議員で取材できなかつたら困る、投票してもらえなかつたら困ると断らないと思われている。また、地方議会はハラスメントが起きやすいとも指摘されました。私たち議会もハラスメントが絶対に起きないように十分注意して議会活動に取り組んでいきましょう。

以上、まとめませんが、研修報告といたします。

○議長（佐藤聡一君） 里見武男議員の報告を終わります。

以上で、議員派遣の件についてを終わります。

◎陳情書の委員会審査報告

○議長（佐藤聡一君） 日程第11、陳情書の委員会審査報告を行います。

最初に陳情３号 国に対し適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書を議題といたします。

本件については去る６月８日、総務建設常任委員会にその審査を付託してあります。総務建設常任委員長から会議規則第75条の規定によって、引き続き閉会中の継続審査（調査）の申出がありました。

お諮りいたします。本件については委員長からの申出のとおり閉会中の継続審査（調査）とすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

したがって、本件は閉会中の継続審査（調査）とすることに決定いたしました。

次に、陳情４号 全国靈感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情を議題といたします。

本件については去る６月６日、総務建設常任委員会にその審査を付託してあります。総務建設常任委員長から会議規則第75条の規定によって、引き続き閉会中の継続審査（調査）の申出がありました。

お諮りいたします。本件については委員長からの申出のとおり閉会中の継続審査（調査）とすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

したがって、本件は閉会中の継続審査（調査）とすることに決定いたしました。

次に、陳情５号 消費税インボイス制度の10月実施を延期し、制度の中止を求める陳情書を議題といたします。

本件については去る６月６日、総務建設常任委員会にその審査を付託してあります。総務建設常任委員長から会議規則第75条の規定によって、引き続き閉会中の継続審査（調査）の申出がありました。

お諮りいたします。本件については委員長からの申出のとおり閉会中の継続審査（調査）とすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。

したがって、本件は閉会中の継続審査（調査）とすることに決定いたしました。

◎委員会報告について

○議長（佐藤聡一君） 日程第12、委員会報告についてを議題といたします。

各委員会において審査（調査）を実施され、それについての報告がありましたらお願いいたします。

総務建設常任委員会。ありませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 続いて、文教厚生常任委員会。

文教厚生常任委員長。前に来てください。

（文教厚生常任委員長 重野能之君 登壇）

○文教厚生常任委員長（重野能之君） それでは、報告申し上げます。

今回は委員構成が変わり、初めての委員会となり所管事務調査を行いました。

まず、町から低所得世帯支援給付金1世帯3万円について説明があり、対象世帯は令和4年度非課税世帯で、支給予定は7月末日からとのことでした。

吾妻郡一般廃棄物処理施設の現況については、土地取得等要望書を財務省関東財務局前橋財務事務所長へ提出し、その後審査等が実施され、最終的に施設完成を令和12年度末を目指すとのことであります。

なお、土地取得等要望書は令和5年6月下旬に予定されているとのことであります。また、町弓道場の整備については建て替え、新設ではなく、修繕等必要な場合に都度対応していく方針であることの説明がありました。さらに各委員からも様々な質疑、提案があり、再生可能エネルギーの促進、給食センターの今後の在り方、また、今年度末で運営主体が替わる太田児童クラブや設置場所が変わる原町児童クラブについてのスムーズな移行を求める意見が出されました。

以上、報告とさせていただきます。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、議会運営委員会。

（「議長、ありません」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 続きまして、議会広報特別委員会。

議会広報特別委員長。

(議会広報特別委員長 里見武男君 登壇)

○議会広報特別委員長(里見武男君) 議会広報特別委員会の報告を行います。

議会広報特別委員会は去る6月6日の本会議で委員の選任が行われました。私里見が慣例によりまして委員長に、委員に重野委員、高橋徳樹委員、井上委員、渡委員、増子委員、齋藤委員が選任され、副委員長に井上委員が選任されました。

定例会中の6月12日の10時より第1回議会広報特別委員会を開催いたしました。議会だより70号の一般質問の編集担当者を決め、原稿の提出の締切日を6月23日の金曜日とし、原稿は電子メールやデータ、配付したCDに原稿を保存して返却も可とします。それ以外で原稿提出が不可能の場合は手書きの原稿も可とします。また、文字数は750文字以内で見出しのQ&Aと写真の原稿がそろった後、6月29日、7月7日、7月19日の3日間で委員会を開催し、最終確認を行い、議長の決裁を得て8月7日を配付予定といたします。

また、今回の70号から議員全員協議会の協議内容について町民が関心を持っていることでもあり、編集責任者の佐藤議長の許可を得て、掲載の方向で考えております。

最後に、町民の皆さんに読みやすく理解できる議会広報に編集できるよう心がけていきたいと思っておりますので、議員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

以上で、議会広報特別委員会の報告といたします。

○議長(佐藤聡一君) 以上で、各委員会からの報告を終わります。

◎発委第2号の説明、質疑、自由討議、討論、採決

○議長(佐藤聡一君) 日程第13、発委第2号 予算決算特別委員会設置に関する決議についてを議題といたします。

提出者は趣旨説明をお願いいたします。

議会運営委員長。

(議会運営委員長 樹下啓示君 登壇)

○議会運営委員長(樹下啓示君) お世話になります。

それでは、発委第2号ということで、予算決算特別委員会設置に関する決議についてご報告を申し上げます。

この特別委員会の設置につきましては、議会運営委員会並びに議員全員協議会でも協議を

いただき、提案するものであります。

名称は予算決算特別委員会であります。付託調査事項につきましては、予算決算に関する調査研究をすることです。なお、この委員会設置につきましては、議員定数の減もあり、大変重要なことですので、全員で共有して協議をしていくということでご理解をいただきたいと思います。

なお、配付させていただいた資料につきましては、執行部の皆さんと協議をし、9月定例会のあくまでも案でありますので、よろしくお願いしたいと思います。

以上で、決議についてのお願いを終わりにしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） 樹下委員長、非常に質問しづらいのですが、よろしくお願いします。

まず、確認なんですけれども、12日に全員協議会がございました。全員協議会のときに本来、樹下委員長がこの設置に関することについて説明すべきところ、代理で議長が説明しました。このことについては、皆さん異論がなかったものですから、その辺は承知しているわけではありますが、基本的には委員長代理が説明をされたことというのは委員長が申したことということでの理解でよろしいですか。取りあえず。

○議長（佐藤聡一君） 委員長。

○議会運営委員長（樹下啓示君） 大変手違い等もあったとご了解いただきたいと思います。けれども、そういったことで解釈されて結構だと思います。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） ありがとうございます。

そういうことになろうかと思います。私はそのとき、特にこの発委に対して委員会設置、これに対しては反対は申し上げたくない。ただし、全員協議会のときにこの発委そのものではなくて、運用面を延々と語られた経緯があるんだと思います。これは、樹下委員長もご承知だというふうに思います。そして、私の質問の中で議案付託ありきで何で進んでいるんですかと。私ども東吾妻町議会の中では、特別会計、これの部分については各常任委員会において付託していますよね。だけれども、特別委員会については議案付託していませんよね。だから、委員長報告はないですよね、委員長報告があると委員長の負担にもなりますよねと

というような質問をしたときに、委員長代理が「ちょっと待ってください、調査検討します。」と言われて、それ、調査検討しますと言うから、「ああ、この人はそもそも付託という意味が分かっているんじゃないのかな」と思って、それ以上の質問をしなかったんです。ですから、その後の回答というものが得られるのかなと思ったのですが、それもないのですが、委員長はその辺を聞いてどういような解釈をされたか、ちょっとお聞きしたいのですが。

○議会運営委員長（樹下啓示君） 竹渕議員おっしゃるとおり現在のこの発委に対することは、予算決算特別委員会を設置するかしらないかということでありますので、付託案件については今後の協議であるというふうに私は認識しておりますし、皆さんも恐らくそうだと思うのですが、でありますから、今後議会運営委員会なり全員協議会なりを開いて検討していかなければならないと思っております。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） ありがとうございます。

委員長、そのとおりだと思います。一応日程予定表の案ということで、これについては執行部、総務課、企画課の課長を交えて一応協議をしたというような形で出ておりますけれども、非常にタイムリーでありますし、やはりもう少し煮詰めなくてはならないというものが、やはり見え隠れしております。

そういった中、今回のその運用に当たっては、予算を上程した後に予算委員会が一応開かれるような日程でございます。ですから、執行部にとってもそんなに負担になるような予算委員会ではないというふうに思っておりますし、本来であればもっと幅広く通年議会にして、定例会が開かれる前に予算委員会を開いてとか、そういったことも可能性とするとあるのかもしれませんが、しかし、委員長が一番最初の全員協議会で申しました、取りあえずやっていく必要があるのではないかとということなんだと思います。

そういった中で、今委員長のほうからも言っていただきましたけれども、その議案付託ありきではなくて、もう少し幅広く今回のこれにあるようにです、付託調査事項ということで、この事項を付託する。予算に関すること、決算に関すること、これを十分にその特別委員会で協議して、そして、本会議においては執行部のほうに質問もありきということも踏まえて、ぜひ、今後全員協議会、またはその議運というところで協議をして、完璧というわけにはいきませんが、取りあえずできるような形に持って行ってほしいなというふうに思いますが、いま一度その辺については今後の協議ということでお約束していただけますで

しょうか。

○議長（佐藤聡一君） 樹下委員長。

○議会運営委員長（樹下啓示君） ご意見をいただきました。

先ほども申しましたように9月定例会の日程の表につきましては、あくまでも案ということで、今後当然協議をしなければなりませんので、そういった方向でご理解をいただければと思っていますし、先ほど言われたような今後議会運営委員会なり全協なり、また、執行部等を交えた会議をし、協議を重ねていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） ありがとうございます。委員長の今のお約束をしていただきました。

ありがとうございます。そういった意味では、この予算決算特別委員会の設置に関する決議については反対する理由はございませんので、ぜひ、そのような形で実施していただきたいというふうに思います。

もう一つ、大変恐縮なんですけれども、関連質問というような形になろうかと思います。

全員協議会のときに議長より20日に先進地に視察に行くと。これについては、メインは予算決算、この審査をどういうふうに行っているのか。ついでということを行ったかどうか分かりませんが、こういったタブレットの運用、これは嬭恋もやっていますからいいんだと思うんです。しかしながら、予算決算の話が出たので言うんですけれども、嬭恋村は予算決算特別委員会はないんです、そもそもが。それで、予算決算については全員協議会である意味正しい言葉かどうかは分かりませんが、ガス抜きをして、そして、本会議に臨むということ以外ないんです。

ですから、その面については大変、嬭恋のことをばかにしているわけではないんです。先進地とは言えない。ですから、もし、視察研修に行くのであれば、予算決算の特別委員会を持たれている町村というんですかね、そこにやはり視察する、行く必要があるんだと思うんですけれども、その辺もちゃんと調査してあれですかね、議運で決定されたんですかね。その辺をちょっとお聞きしたいのですけれども。

○議会運営委員長（樹下啓示君） 議会運営委員会の中では、ざっくりばらんな話をさせてもらいますけれども、調査はしておりません。

たまたま、これは議長のほうが経過をよく分かっていることなので、議長から言ってもらったほうがいいかもしれませんが、先ほど竹渕議員が言われたようなタブレットの件

もありますし、何か、会議システムと取り上げて、予算化して設置をして使っているんだそうです。それが、とても有効的に使えているんだというような話を議長会の総会の際に議長が聞いたらしいんですけれども、予算決算特別委員会、私は設置してあるんだと思っていましたから、それは今、ないですと言われたのは初めてですけれども、竹渕議員から言われたんですけれども、そういったことで予算決算の特別委員会を立ち上げて、予算決算特別委員会で行こうということに、視察させていただきましょうという話になったのですけれども、そんなに急いで行かなくてもいいだろうと私は言ったのですけれども、たまたま先方の事務局長さんが今月いっぱい退職をするということで、その内容について一番知っている人らしいんです。だものだから、今月中に行ったほうがいいだろうということで20日という日程になったのですけれども、たまたま20日の午前中しか空いていないということで、そういう日程にさせていただきました。

そういうことで、ぜひ、ご理解をいただきたいと思うのですけれども。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） この場で議長に質問するというわけにはいかないのですが、何とも言えないのですが、この件については関連の関連みたいな形でありますので、この場で議論するものではないというふうには理解しております。

しかしながら、やはり予算決算特別委員会をつくる、メインはそっちのほうなんだというものの考えがあるのであれば、やはりちょっと仕切り直していただいて、議会運営委員会で、やはり議長の諮問機関でありますから、委員長の方から議長のほうにきちっと言うべきだというふうに私は思います。

そういった意味では、やはり思いつきではなくて、思いつきではないかもしれませんが、だけれども、そういう考えがあるのであればきちっと、やはり議会運営委員会で、婦恋というのはどういうところなんだ、もしかしたら議会運営委員会の委員の方々、そんなことも誰も知らなかったんじゃないですか。多分ね、委員長も知らないんですから。だから、そういうことではなくて、私が今関連質問のしている部分についてはこの本会議での発言というのは削除していただいても結構です。あまり自慢になるような話ではありませんからね。だけれども、議会運営委員会のほうでもう一度、その日程も含めて、また、行く先も含めて少しご協議いただけないでしょうかね。

○議会運営委員長（樹下啓示君） 20日の件についてはそういうことで、先ほどはちょっと説明はさせてもらいましたけれども、そんな言い方をしたら失礼かもしれませんけれども、ど

うしても都合がつかなければ仕方がないのではないかなと。私は本会議ではありませんので、当然そうだと思うのですけれども、竹渕議員のほうからそういう意見があったということは、私も止めさせていただきまして協議をしたいと思いますので、そういったことでご理解をいただきたいと思いますが、よろしくお願いします。

（「結構です。ありがとうございました。」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） ほかに。よろしいですか。

5 番、井上議員。

○5 番（井上日出来君） お疲れさまでございます。

まず、この予算決算特別委員会の設置に関する審議を議会運営委員会で相当慎重にされたことと思います。

頂いた資料の中にちょっと私自身心配になることがありましたので、その点をお伝えして、お願いという形で受け止めていただければと思います。

恐らく議会運営委員会の中で配られました資料の定例会日程予定表の案の①、②、③というのがございます。そちらのほうの資料の中、これはあくまでも案ということで私は受け止めておりますけれども、その資料の中では10月の会期外において予算決算特別委員会、来年度予算に向けての協議（要望書）というのがあります。これにつきましては、予算決算特別委員会というのは、あくまでも議案が上程されてから審議されるものというふうに解釈しております。よって、それに先んじて委員会のほうでこの予算について協議をするということは、もしかしたらそれは、町長の専権事項であります予算提案権に対して議会が越権行為とみなされる可能性があるということを重々理解をいただきまして、これからこの予算決算特別委員会の運営に当たりましては、くれぐれもそこを念頭に運用については十分注意して行っていただきたい。これは議運の皆様にぜひ、よろしくお願いしたいと思います。

この設置に関しては、私自身は設置すべきものとして賛成をしておりますので、以上、よろしくお願いします。

○議会運営委員長（樹下啓示君） ご意見ありがとうございました。

そのような方向で運用していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） ほかにありますか。よろしいですか。

（発言する者なし）

○議長（佐藤聡一君） それでは、質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長（佐藤聡一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長（佐藤聡一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件につきましては原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長（佐藤聡一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎予算決算特別委員会委員の選任について

○議長（佐藤聡一君） 日程第14、予算決算特別委員会委員の選任についてを議題といたします。

予算決算特別委員会委員の選任につきましては、委員会条例第7条の規定により、それぞれ次のように指名をしたいと思います。

朗読願います。

事務局長。

○事務局長（西山孝弘君） それでは、朗読いたします。齋藤貴史委員。増子京子委員。渡一美委員。井上日出来委員。高橋弘委員。高橋徳樹委員。里見武男委員。小林光一委員。重野能之委員。竹渕博行委員。樹下啓示委員。

○議長（佐藤聡一君） ただいま朗読のとおり選任したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（佐藤聡一君） ただいま事務局からお配りしました資料について、訂正がございます。

2行目の予算決算調査特別委員会委員を次のように指名しますの「調査」を消してください。よろしくお願いいたします。

続けます。

異議なしと認め、したがって、ただいま朗読のとおりそれぞれ予算決算特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

以上で、予算決算特別委員会委員の選任についてを終わります。

ここで休憩を取り、委員長、副委員長の互選のための委員会を第1委員会室で開催していただきますと思います。

委員長の互選は、委員会条例第9条第2項の規定により、年長委員が務めることになっておりますので、年長委員さん、よろしくお願いいたします。

なお、委員長決定後の副委員長の互選は、就任された委員長が進行してください。

互選が終わり次第本会議を再開いたします。

暫時休憩を取ります。

(午前10時49分)

○議長（佐藤聡一君） 再開いたします。

(午前10時55分)

◎予算決算特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告

○議長（佐藤聡一君） 日程第15、予算決算特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告についてを議題といたします。

ただいま予算決算特別委員会において委員長、副委員長の互選結果の報告が出ましたので、議会事務局長からこれを発表させます。

朗読願います。

事務局長。

○議会事務局長（西山孝弘君） 予算決算特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告をいたします。予算決算特別委員会委員長、里見武男委員。副委員長、高橋徳樹委員。

○議長（佐藤聡一君） ただいま発表のとおり予算決算特別委員会委員長、副委員長が決定いたしました。

以上で、予算決算特別委員会委員長・副委員長の互選結果の報告については終わります。

◎閉会中の継続審査（調査）事件について

○議長（佐藤聡一君） 日程第16、閉会中の継続審査（調査）事件についてを議題といたします。

次期定例会までの閉会中の継続審査（調査）事件についてお手元に配付のとおり各委員会から申出がありました。

お諮りいたします。各委員会から申出のように、閉会中の継続審査（調査）事件として決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。各委員会の閉会中の継続審査（調査）事件が決定いたしました。

ここで休憩を取りたいと思います。

再開を11時5分としたいと思います。よろしくお願いいたします。

（午前10時56分）

○議長（佐藤聡一君） 再開いたします。

（午前11時05分）

◎町政一般質問

○議長（佐藤聡一君） 日程第17、町政一般質問を行います。

◇ 竹 淵 博 行 君

○議長（佐藤聡一君） 最初に11番議員、竹淵博行議員。

11番、竹淵議員。

（11番 竹淵博行君 登壇）

○11番（竹淵博行君） ただいま議長の許可をいただきましたので、一般質問通告書にのっとりましてさせていただきます。

3点、町の水道事業等の今後の在り方について。2番目といたしまして、公共交通による高齢者、障害者対策等について。3点目、（仮称）バスタ東吾妻の進捗状況について質問させていただきます。

要旨でございますけれども、まず、町の水道事業等の在り方について。

水道法では第1章第2条責務の部分で、国及び地方公共団体は水道が国民の日常生活に直結し、その健康を守るために欠かすことのできないものであり、かつ、水が貴重な資源であることに鑑み、水源及び水道施設並びにこれらの周辺の清潔保持、並びに水の適正かつ合理的な使用に関し必要な施策を講じなければならない。

第2条の2の3、市町村はその区域の自然的社会的条件に応じて、その区域内における水道事業者等の間の連携等の推進その他の水道の基盤の強化に関する施策を策定し及びこれを実施するよう努めなければならないということでございます。

それについて質問させていただきます。

水道施設の老朽化や石綿管の布設替えなど様々な投資が必要であり、給水人口減も視野にある中で、町では水道料金の改定及び実施が近々の課題だと思うが、平成30年に策定した東吾妻町水道事業基本計画、上水道事業計画経営戦略、簡易水道事業経営戦略の改定も含め、進捗状況を伺う。

2点目、令和6年度より上水道事業、簡易水道事業、下水道事業が公営企業会計に移行のようだが、具体的にどのような取組になるのか伺う。

3点目、上水道事業、簡易水道事業は基本的には計画給水人口で区分されるようだが、水道料金を比較すると基本料金では上水は簡易水道の2倍の料金である。町民からすると蛇口を開ければお水が出るだけのこと。今後の2事業の在り方について伺う。

次、公共交通による高齢者、障害者対策等について。

町の公共交通、乗合バスでは乗合タクシー形態が2路線、湯中子線、天狗の湯循環線、乗合バス形態4路線大戸線、権田菰生線、須賀尾線、大柏木線で運行しています。その中でも

かろうじて天狗の湯循環線が収支率10.2%で県からの補助金対象になっております。ギリギリの状態であり、いつ対象外になってもおかしくない状態であります。現状は相変わらず乗車率が低く、空気を運んでいるようなものに見えてなりません。

そこで、特に湯中子線、大戸線については乗車率を上げれば県からの補助金が高くなる路線でありますので、高齢者、障害者、免許返納者の福祉事業として取り組まれてはどうか。このままでよいと考えるのか、少しでも乗車率を上げようとするのか、伺います。乗車率を上げようと考えているのであれば、具体的にお示しください。

2番目といたしまして、町では平成20年5月より公共交通事業者等道路管理者、関係する公安委員会並びに地域公共交通の利用者、学識経験者で構成し、東吾妻町地域公共交通活性化協議会を組織し、地域公共交通の活性化に関し必要な協議を行っている認識しております。

近年ではスクールバスと路線バスとの連携や、坂上地区におけるデマンドバス運行についても協議をいただき、運行実施に至っていると認識しております。

そこで、公共交通による地域活性化とはどのような認識か伺います。

次に、（仮称）バスタ東吾妻の進捗状況について。

事業主体、位置、規模、施設の内容、運行形態等具体的にお示しください。

このことについては、全協において課長より説明がありましたけれども、あえて町長からご答弁いただければありがたいというふうに思います。

あとは、議席にて対応したいというふうに思います。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、町長の答弁を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） それでは、竹渕議員のご質問にお答えをいたします。

1項目め、1点目の水道料金の改定及び水道基本計画等の進捗状況についてでございますが、町の上水道は昭和40年に一部供用開始以来数回の拡張工事を経て、今日に至っております。また、簡易水道につきましては、昭和34年に旧東村の一部で給水開始以来町村合併による簡易水道の統合や、幾度かの拡張工事を経て今日に至っております。

この間、管路や施設の更新はその都度行ってまいりましたが、一部分に過ぎません。依然上水道には石綿管が約6.4キロメートルが未更新となっており、今も地中に埋設をされている状況にあり、橋梁添架されている管も老朽化が進んでいる状況でございます。

最近日本各地で地震が多発をしている、このような中で老朽管を早期に耐震管などに更新

をしていく必要があると思っております。しかしながら、更新工事には多額の費用が必要となります。優先度などを考慮しつつ、計画的な更新をすることが必要だと考えております。一方で給水人口の減少等により、給水に係る費用を水道料金による収入で賄えていないことも事実でございます。今後更新費用の増加を考慮すると、現状の資金残高が十分とは言えない状況でございます。必要に応じて料金改定や起債、一般会計からの補助金等も含めて検討してまいります。

各経営戦略計画につきましては、令和4年度見直しを行いました、現在一部修正を加えている状況でございます。9月議会でお示しできるものと考えております。

2点目の簡易水道事業、下水道事業の公営企業会計への移行による具体的な取組はについてでございますが、令和6年4月より現在特別会計の簡易水道事業、下水道事業につきましては、地方公営企業法の適用となり、現在の水道事業会計と同様に公営企業として町の会計から独立して運営することになります。資産を明確に把握して、実質的な経営動向を広く整理する発生主義会計となり、経理方法も単式簿記から複式簿記を採用することになります。収支区分も歳入歳出から収益的収支、資本的収支となります。全ての債権債務、資産の増減や異動を把握することが複雑かつ多方面にわたる経営活動、期間損益として把握することにより、現状分析や将来の事業経営計画に役立てることが可能となってまいります。

3点目の上水道事業と簡易水道事業の料金についてでございますが、先ほども申しましたが、簡易水道事業も令和6年4月より公営企業会計に移行することにより、町の水道事業は地方公営企業法適用の水道事業会計及び簡易水道事業会計の2つの会計となります。当面会計統合はしない方向で考えておりますが、将来的には会計を統合し、料金体系についても整合を図りながら、料金は同額とし、水道事業を一つにして管理運営をしてまいりたいと考えております。

2項目め、1点目の乗車率についてでございますが、町内の路線バスは民間バス事業者の撤退に伴って継承した、委託乗合バス形態によって運行しており、住民の日常生活に必要な交通手段の維持確保を行っております。高齢者、障害者対策等についてでございますが、現状では運賃体系の中で高齢者及び障害者に対し特定の割引を実施しております。学生や高齢者等の特定層への横断的な連携支援としましては、教育行政分野における利用負担の軽減策として遠距離通学費補助金や通学定期代補助金を設けております。また、運転免許証自主返納支援事業では、高齢者にバス回数券を交付しているところであり、乗車率の増加につながる環境づくりに取り組んでおります。

今後のさらなる拡充に当たっては、それぞれの行政分野において課題の要求度や優先度を整理し、必要な方策を検討していくことが必要であると考えております。地域公共交通計画の着実な実行と、町内の公共交通の地道な周知を重ねながら、行政による赤字補填分の費用負担に考慮しつつ、最低限度の路線バス自体を維持し、地域の足の確保を続けてまいります。

次に、2点目の公共交通による地域活性化についてでございますが、東吾妻町地域公共交通計画の基本方針に掲げております公共交通を軸としたゆとりある地域の暮らしを実現する拠点づくりを進めることにより、各地区に暮らしを支え交流の中心となり得る地域拠点を構築し、地域コミュニティの活性化や地域活力の向上につなげることが公共交通による地域活性化と捉えております。

3項目めの（仮称）バスタ東吾妻の進捗状況についてでございますが、議員全員協議会において担当課長より説明させていただきましたが、現時点では回答できる項目のみとさせていただきます。事業主体は東吾妻町でございます。位置は上信自動車道植栗中之条インターチェンジ付近でございます。規模は現在検討中でございます。施設の内容は、主な施設といたしまして駐車場、バスターミナル、休憩施設、情報発信施設、地域振興機能施設でございます。運営形態その他につきましては検討中でございます。今後状況に応じて報告をさせていただきますようにいたします。

以上でございます。

○議長（佐藤聡一君） 二次質問はございますか。

11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） 丁寧なご答弁、ありがとうございました。

まず、水道の関係なんですけれども、公営企業会計になることによって現状分析、そして、将来の事業経営計画に役立つ、これはもう、もっともなことだというふうに感じておりますので、令和6年度から実施されるということを伺いました。

この水道事業についての一番、町民も聞きたいところだとすると、最後の町長、こういうふうに申し上げました。「今は会計統合をしない方向で考えておりますが、将来的には会計を統合し、料金体系についても整合を図り、料金は同額として管理運営してまいりたい」と。現状は、簡易と上水で2倍の基本料金は下がります。過日の議員全員協議会において担当課長のほうから2割程度上げてまいりたいというような話もありました。

泥臭い話はあまりしたくないので、具体的な金額というのは私からは申し上げません。町長として、今後の在り方として様々な更新工事だとか、石綿管の布設替え工事だとか、いろ

いろやはり、これからお金がかかるというのはもう、当然承知をしているわけですがけれども、どちらにしても料金を少し上げたいんだということをおっしゃったんだと思うんです。将来的にはお金も料金体系も同額ということですから、例えば上水道の基本料金を2割程度上げた場合、当然簡易水道が2割だといつまでたつたって平行線になるんだと思うんです。ですから、上水道を2割程度上げるとすれば、簡易水道の基本料金というのを3割だとかそういったような形で上げざるを得ないというふうに考えるのですけれども、その辺のお考えというのはあるのでしょうか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） そうですね、議員おっしゃるとおりこの2つの料金を同額にしていくと、同じにしていくというには1回で済む問題ではないので、これは数回の段階を経て行うことを考えております。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） ありがとうございます。

そういうことになるんだと思います。もう一点、ここで確認したいのが、料金を上げる。それは幾らそれは上げたいんでしょうけれども、そうすれば町民にとっては困る部分もありますから、ただ、考え方とすると、例えば町全体の事業をするに当たって国からの交付金だとか、県からの補助金を頂くような事業を探して、当然事業実施ということになっているんだと思うんです。この水道の関係についても、当然公営企業会計になって、そして、例えば工事するにしても国から補助金が得られるような料金体系を目指す。目指すのか、それともそうでなくて、それ以下での取りあえず段階を踏んでいきたいのか、その辺の目標値というのはどの辺にあるのでしょうか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 水道に関しましても、国の補助金制度があるわけですので、町としてはこういったものを当然活用していくことが有利だというふうに考えておりますので、この補助制度を使っていきたいというふうに思っております。これには、10立方メートル当たりの料金が全国平均額以上にならないともらえないという事情がありますので、その点を今後は上げ方も十分に検討しながら進めてまいりたいと思います。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） ありがとうございます。

そういうことになるんだと思います。そこで、補助金の細かい部分での、その基準という

のは私、存じません。そしてまた、細かい1世帯当たりのどういう状況がどういうふうに平均になっているとか、そういった細かい資料というのは持ち合わせておりませんので、細かいことはちょっと申し上げられないのですけれども、国の基準を満たすための基本料金、これをある程度目指す必要があるんだろうというふうに考えます。当然、それは基本であります。しかし、それで1立米当たりというか、使用料金がかかってくるんだと思うんです。上水道の部分も簡易水道も百幾らとかかっていますよね。ですから、運営企業とすると基本料金を上げることによってある程度安定した収入が得られるというプラスの部分がある。上げるだけではなくて、今度は使用料金は若干下げるとか、そういったこともぜひ、検討していく必要があるのではないかな。

その辺の細かい部分というのは私は知りません。だけれども、可能であれば基本料金は上げるけれども、使用料の部分の単価、この部分については少し減額するとか、それで少し全体的なバランスというものを少し検討するとか、そういったことも必要ではないかなというふうに考えるのですが、ちょっと細かい資料がないので、それ以上のことは言いませんけれども、考え方とすればそういったことも検討する必要があるんだと思うのですが、町長、いかがでしょうか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） そうですね、竹渕議員がおっしゃるとおりでございますので、今後十分にその点は検討しながら、町にとって安定して水道事業が遂行できるようにしっかりと検討してまいりたいと思います。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） ありがとうございます。ぜひ、担当課中心にいろんな考え方があるでしょうけれども、私が言ったことも踏まえてぜひ、ご検討いただければありがたいなというふうに思っております。

次に、公共交通について二次質問させていただきます。

町では様々な取組はされているということを理解はしております。そして、ちょっと言葉で言うときつい表現だったかもしれませんが、空気を運んでいるようなものだというように思われても仕方がない現状があるということは、誰もが理解しているんだと思います。しかし、町の公共交通の理念というか考え方として、誰も取り残さない、要するになくてはならない手段であるという観点から考えれば、この公共交通というのは非常に大事だと、基本的には非常に業者が運営するのにはもう、値しない。業者が撤退する、だから、それでは

困るから町が補助金を出して今、運営している。当然町長の答弁もございました。

そこで、幾つかの努力はされているということは町長の答弁から見受けられますし、私も承知しているところでございます。それで、今現在は先ほど申しましたけれども、天狗の湯循環線、この部分については収支率が一応10%を超えておるので、県からの補助金が135万円くらい頂いているという現状があるわけです。湯中子線だとか大戸線、これについてももう少し頑張れば県からの補助金がクリアできる。そういったところにあるんだと思うんです。ですから、その辺というのをもう少し一ひねり、二ひねりして努力する必要があるのではないかというふうに考えますけれども、その辺はいかがでしょうか、町長。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） そうですね、竹渕議員のおっしゃるとおり補助対象となっておるのが天狗の湯循環線のみだということでありますが、湯中子線なり、大戸線なり、萩生権田線なりもうちょっと乗っていただければ補助対象になる状況になろうかと思いますので、今後も今までの補助制度等も活用しながら、また、新たな方策があればそういうものを取り入れて、町民の皆様になるべく乗っていただいて、そして、公共交通をしっかりと確保していく、そういうふうな考えを持っております。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） ありがとうございます。そういった形で毎年毎年それなりに取り組んできているのだけれども、現状とすれば大変厳しい現状維持であるということが示されているわけでありまして。そういった中、私も少し提案的な話でありますけれども、やはり福祉事業として横断的に、今もやっているというのは分かるんです。だけれども、もっと乗車率を上げて、実際にその路線を乗っていただいて県からの補助金を得られるような仕組み、こういったような取組もぜひ、実施していただきたい。私も調査したところ、ちょっと言葉が正しいかどうかは分かりませんが、何年か前にちょっと県からのご理解がいただけないようなことをやって、ちょっと注意されたとか指摘されたというようなことも承知しています。具体的には言いません。だけれども、それはそれとして、やはり実態として、やはりその路線に乗っていただくようなそういったものに、ぜひ、力を入れてほしい。

具体的に言えば高齢者、例えば75歳以上のお年寄りだとか、障害者の方々、それでまた、免許返納者、こういった方は本当に優先的に、もう本当に無料的な発想で乗車していただくような、私も今、今年60になりました。これから10と言うとちょっと町長よりまだ、年下なので失礼ですね、20とか25歳、やはり上がってきたときにどうあるべきかということも

我々の責任として考え、また、本当に格安で乗れるような路線バスであれば、本当にいいな、ありがたいな、それには当然予算がかかる。だから、乗車率を上げて、県の予算もやはり、頂けるような、こんなような施策をぜひ、いま一度町長のほうからご答弁いただきたいというふうに思います。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 公共交通、これは町の基本としてしっかりと取り組んでいかなければならないものでございますので、これからも補助対象になるもの等のいわゆる運行の仕方、手法ですか、そういうものをもう一回見直して、そして、町民の皆様が安く乗って利用していただける、そういう状況を見直してつくり出していきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） 前向きな答弁、ありがとうございます。

それで、公共交通の2番目の質問でございます。公共交通による地域活性化はどのような認識か。これはもう、なかなか難しい話なんですけれども、この前段で東吾妻町地域公共交通活性化協議会、これをやはり、十分に活用できているのかという問いなんです、本来は。ここは。別にけなしているわけではないんです、一生懸命やられているなということの中で言っているのですけれども、あえて言えばこの協議会を開くときに、協議をしてもらう議案というのは当然あるんだと思うんです。その後に当然、その他というものがあるかもしれませんが、私は出ていませんから分かりませんが、だけれども、先ほど町長の答弁のように今や公共交通というのは町のお金なしでは動かないという存在なんです。だけれども、実態、実施、実施主体は民間のバス会社。だから、補助金を出しているわけです。バスも買ってあげているんです、実際には。だけれども、バスの所有権はどこにあるかと言ったら、事業者なんです。それが今の実態というのは分かっています。

そこで、昔であれば、やはり単独で運営していますから、あの手この手を使っていかにこの乗車率を上げるかという、業者が努力をしますよ。だけれども、今は努力をしているかもしれませんが、多分していない。しなくてもいい、こういう状況。これは、これをどうしたらいいかと言ったら、それはやはりこの公共交通活性化協議会でその他の部分で、やはりきちっと協議をしていただく議題をちゃんと載せていくと。具体的に載せていくということを経営会でしていかないと、いつまでたっても町からこのことについてただ、協議をしてくださいで終わっちゃうんです。多分、これの現状がずっと続いてきたんだと思うんです。

その辺町長、どういうふうに捉えていますか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 地域公共交通活性化協議会につきましては、運行业者、また、関係する公的な機関等の皆様と一緒に協議をしているわけでございますけれども、今後は運行会社もやはり、町民の皆様がより乗っていただくような、そういった手法といいますか、取組をやはり、力を合わせて行っていただくということが必要だと思いますので、そういった協議会で今後はしっかりまた、官民共にしっかり手を携えて取り組んでいきたいと思います。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） ありがとうございます。残り時間も少なくなってまいりました。

それで、私がふと思ったんです。例えば、バス自体を移動するギャラリーにしたらどうだと思ったんです。これは一つの考え方ですよ。パソコンでちょっと調べてみたんです。そうしたら、今年の令和5年1月11日から令和5年2月28日まで児童が描いた絵画を車内に展示したギャラリーバス運行をやられたところがあるんです。これが姫路市なんです。これが一つの例として、そういったような取組み、またはバスの所有権はバス会社にあるかもしれないけれども、だけれども、例えばバスのラッピング、ただラッピングすると言ったって、ただ町がお金を出したのでは面白くないわけです。これは企業の協賛をきちっといただけたところはいただきながらラッピングしていくとかです、そういったようなこともぜひ、視野に入れて検討していただきたい。

何と言っても、町長があ、こうかと思ったら、やはり副町長と相談して、そして副町長が基本的には横断的に、やはり調整をしながら事業を進めていく、こういったような姿勢というのは非常に大事だと思っていますので、まずは町長の考え方一つ、また、担当課の当然ながら考え方の一つというのはあるかと思っていますけれども、いま一度お願いしたいというふうに思います。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 移動するバスのその展示場ですか、展示場になるわけですね、今お話ししたのは。そうですね、子供たちの絵をそこに展示することによってお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんまで乗って、その絵を見ながら移動するということはなかなかいい考えだというふうに思います。そういった一つの発想も大いにいただきながら、バスに町民の皆様が大いに乗っていただくようこれからも努めてまいりたいと思います。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） 町長、ありがとうございます。

最後になります。（仮称）バスタ東吾妻、この進捗状況について町長からのご答弁いただきました。担当課長から全員協議会において示されましたことだと思います。そこで、資料があると思うんですが、1番の事業目的、ここの部分が非常に大事だというふうに、今中間報告の中で非常に大事だと捉えています。ここの部分を町長の口からご答弁いただけないでしょうか。ここの部分ちょっと抜けていたので。事業目的の部分。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） バスタ東吾妻につきまして、高速バスと路線バスの交通結節点、高速バスと一般車との交通結節点、路線バス同士の交通結節点など設置整備することで公共交通の利便性向上と利用促進を図り、パークアンドライド機能による環境への貢献につなげるとともに安全で快適な交通環境を提供するほか、地域の玄関口として情報発信機能を発揮することにより、社会基盤の整備の一助や地域活性化に資するものでございます。

○議長（佐藤聡一君） 11番、竹渕議員。

○11番（竹渕博行君） 町長、ありがとうございました。

以上で、私の一般質問に代えさせていただきます。

○議長（佐藤聡一君） 以上で、竹渕博行議員の質問を終わります。

◇ 重 野 能 之 君

○議長（佐藤聡一君） 続いて、10番、重野能之議員。よろしくお願いします。

10番、重野能之議員。

（10番 重野能之君 登壇）

○10番（重野能之君） 議長の許可を得ましたので、一般質問をさせていただきたいと思えます。

今回は質問の項目としまして、令和5年度農業振興事業等について。2つ目として、教育の基本的方針等について質問をさせていただきます。

質問の要旨。まず、生きていく上で欠くことのできない大切な私たちの食であります。その根幹となる大切な農林畜産業が全国的に危機的な状況を迎えつつあります。飼料、肥料などの価格高騰や人的な担い手、後継者不足は深刻であります。農業を守る、真剣かつ大胆な

政治政策が今、求められていると思います。当町における令和5年度及び継続の農業振興策をお聞かせください。

2点目としまして、山本一太群馬県知事は、群馬ブランドとも言える観光と農業振興に注力する姿勢を示しております。非常に重要なことと思います。町の観光案内マップ等にも掲載されておりますが、当町にもいわゆる観光農園があります。経営者や農業従事者の方々の懸命な取組によって、新鮮でおいしいものが提供されております。今後農業経営者、従事者の方々と話し、知恵を出し合う協議体を設けながら担い手の確保を含めた各農園の事業拡大整備に町の積極的な支援、補助が必要と考えますが、町長のご見解をお聞かせください。

3点目としまして、将来にわたる社会の存続と発展にとって教育は重要であります。町執行部を始め多くの職員の方々が日夜懸命に子供たちへの教育に取り組んでいただいております。教職員の負担軽減を図ることなど解決するべきこともあります。子供たちへの保育所、こども園を含めた学校教育に関する町の基本的方針と今後の課題や取組をお聞かせください。

以上、自席に戻らせていただきます。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、町長の答弁を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） それでは、重野議員のご質問にお答えをいたします。

1点目の令和5年度農業振興事業についてでございますが、1つ目は令和5年度より農業の担い手を増やすために農業担い手受入協議会を立ち上げ、新規参入者を受け入れる体制づくりを始めております。今後は就農に向けた説明会等において農業をやりたい人を東吾妻町に呼び込みたいと思っております。

2つ目は農業を行うことに強い意思があり、意欲があり、町で作成する人・農地プランに位置づけられている新規就農した49歳以下の方に、就農初期の経営安定のために年間150万円を昨年度は3名の方に支援をしております。

3つ目は、耕作放棄地の活用の促進と農業振興を図る目的で農業機械導入の補助を行っております。

次に、各農園の事業拡大・支援補助でございますが、果樹支援対策で苗木の購入費、棚などの施設整備の補助を行っております。今後はイベント等で積極的にPRし、観光農園で収穫する楽しみを多くの人に体験をいただき、東吾妻町の農業と観光を発展させていきたいと考えております。

2 点目につきましては教育長より答弁をさせていただきます。

○議長（佐藤聡一君） 教育長。

（教育長 山野邦明君 登壇）

○教育長（山野邦明君） 重野議員の質問にお答えをさせていただきたいと思います。

2 点目の教育の基本方針等についてのご質問でございますが、町が目指す将来像や第 2 次総合計画の基本目標、豊かな心を育む学びのまちを目標に教育、文化の充実した町を目指しております。町教育委員会ではこの目標に沿って、教育行政方針を立てております。学校教育課では未来を担う子供に生きる力を育む保育、教育の推進を基本方針とし、6 つの施策を重点に取り組んでおります。

まず、1 つ目は学力の確実な定着を図り、学びに向かう力、社会に参画する力の育成の推進です。マイタウンティーチャーや、学校支援員の設置、国際交流事業や外国語コーディネーターの活用など、保育・学習環境の整備に努めています。

2 つ目は、生命や人権を尊重し、互いに認め合い、自他を大切にする心の育成です。教育相談員体制の充実のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置による子供たちの支援や、町では教育指導員を配置し、子供や学校教職員への指導や助言等を行っております。また、男女混合名簿の導入など人権教育に配慮した教育に努めています。

3 つ目は、生涯にわたり健康に過ごすための心と体の土台づくりです。健康に関わる測定器の整備、保健センターとの連携を通した小児生活習慣病検査結果の活用、がん教育講演会の開催、登下校や土日の部活動の練習試合等のスクールバスの活用や、中学校部活動指導員の活用などがあります。また、安心・安全な給食の提供を行っております給食センターにつきましては、今後給食センターの在り方について現在検討委員会を立ち上げ、協議を行っているところであります。

4 つ目は教職員の資質、能力の向上を図ることです。教育委員会及びこども園、小・中学校の教職員で組織する町教育研究会の活動の充実を図ることや、本町の内外で開催される各種研修会の参加を推進しております。

5 つ目は開かれた保育所、こども園、学校づくりの推進及び運営体制の充実です。地域全体で子育ての環境をより一層充実させるためのコミュニティースクールを令和 6 年度にスタートできるよう社会教育課や学校と連携して準備を進めているところです。

6 つ目は、保育、教育の環境や条件の整備です。子供たちや教職員のよい環境の中で活動や指導ができるよう施設の改修や機器の整備に努めております。多くの資金を要する施設の

改修には国等の補助金や交付金を活用しております。昨年度は教室のＬＥＤ化や太陽光発電等の施設を東吾妻中学校、東小学校、岩島小学校に設置しました。また、町の育英制度では奨学金の貸与制度のほかに新たに入学準備金制度を創設し、貸与を始めました。

以上が、学校教育の教育方針と取組ですが、課題もあります。直近の課題としましては、教職員の働き方改革、中学校部活動の地域移行及び来年度発足予定のコミュニティスクールの立ち上げであります。それぞれの課題は学校だけでは解決できるものではありません。地域の皆さんの協力や支援なくして成立しないものです。子供たちにとっても地域にとっても有益になるものになるよう課題解決に努めてまいりたいと考えております。

以上、重野議員の質問の回答とさせていただきます。

○議長（佐藤聡一君） 二次質問ありますか。

10番、重野議員。

○10番（重野能之君） 大変ご答弁ありがとうございました。

農業と、また、教育ということで今回は質問させていただきました。また、再質問に入る前にこの場をお借りしまして、今定例会から副町長ということで就任をいただきました石村副町長、就任誠におめでとうございます。

新体制ができました。監査でお世話になっていたのですが、引き続き町民の方々、また、議会に対してよろしくお願いいたします。

それでは、1点目として農業振興ということで質問させていただいたのですが、先ほど教育長から答弁をいただきましたので、教育について質問というか、1点だけお願いをしたいと思います。

ご答弁をいただきましてありがとうございます。大変に少子化という中で、また一方で情報や科学技術、そういった発達の中で教育環境というものが非常に複雑化していくような傾向であるように思います。また、そういう中で依然として本当に身近なところでいじめであったり、また、子供たちが、今ヤングケアラーということでいろんな思いを抱き、悩んでいる子供たちも多数いると思います。一方でまた、保護者の目線ということで、私も子供がやっと高校1年になったのですが、保護者の目線ということで考えますと、やはりこういったいわゆるこういう時代の中で複雑化する、また、将来に向けてある意味不安、また、不満が募っていくような社会情勢の中で、教育に対する非常に期待というものも一方保護者が強く持っていると思います。

特に我が町、教育と少し離れるのですが、子育て支援、非常に充実した政策を町長執行部

に行っていただきまして、本当に多くの保護者の方が実際に喜んでいます。うれしく感じて、日夜教育、子供の子育て励んでくれている親の方がたくさんいます。そういうことも踏まえた中で、今後の学校教育ということも踏まえて教育長のほうから保護者、また、子供たちに向けてメッセージというんですかね、今年度も含めてなんですが一言いただきたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

○議長（佐藤聡一君） 教育長。

○教育長（山野邦明君） 大変重要な質問をいただきましてありがとうございます。

今現在保育所、こども園、小学校、中学校とも大変子供たちも元気に活躍をしておるところであります。私としましては中学校までの子供の指導、そういうものについてはすごく重要なことであるというふうに考えております。先ほども教育の方針を申し上げさせていただきましたが、その方針に沿って今後もしっかり教育のほうを推進してまいりたいというふうに思っております。

○議長（佐藤聡一君） 10番、重野議員。

○10番（重野能之君） ありがとうございます。

続いて、もう一つだけ農業振興に関わることで再質問を提案というか、させていただきたいと思います。

毎日、私、皆さんもそうだと思いますが、上毛新聞で非常に毎日勉強をさせていただいております。分かりやすく読みやすく非常に勉強になっているのですが、6月13日の上毛新聞で、県の農業振興ということについて掲載がされておりました。これを活用させていただきまして、町もいろんな取組をしていただいている中で、県も農畜産物を温泉、マスコットキャラぐんまちゃんと並ぶ群馬県最大のカラーコンテンツに位置づけ、データ分析に基づくブランド力強化に取り組んでいる、このように書かれておりました。県は2019年12月部局横断のG-アナライズ&PRチームを新設した。そして、そういった細かい政策等に、対策によりまして、この新聞によりますと、海外に目を向けると県産農畜産物と食品の輸出額は新型コロナウイルスの影響を受けた2020年を除き右肩上がりが増え、22年は14億8,513万円と輸出額は過去最多を更新したということで、非常に期待が持てる、また、非常にうれしいニュースが、ニュースというか現実にもそういうことになっているということで報道もされております。

また、一方で当町も含めて身近な山間地を見ていきますと、やはり、しかし、まだまだなかなか厳しい状況、そして、今後さらに担い手不足ということが非常に深刻になっていると

いう話を聞きます。効率化と同時に、やはり人材の発掘が改めて必要のように感じております。まず、その中で身近な町内、郡内の特に若い若年層に農業に興味関心、また、実践をしていただく、そういう仕組みづくりを町にさらに力を入れていただきたいと思います。

町長にも先ほど答弁をいただきましたが、その中でこれは、今さらという話になってしまいかもしれないのですが、週末ファーマーというんですか、一般、ふだんは、平日は外で働いているお父さんであったりお母さんであったりが、週末に休日に農業に体験をする、関わると、こういうようないわゆる週末ファーマーというのがここ数十年話題となっております。2019年のレジャー白書によりますと、貸農園を利用する人が約360万人日本にいます。これは農業従事者は約168万人ということで考えますと、非常に大きな数字であります。そういったことを踏まえまして、町が広報あるいは募集をかけて主体となって町内の農業従事者、あるいは事業者と協力をいただいて、週末本当に身近な、気軽な感じで個人や家族で農業体験、米、野菜、畜産等まず気軽に体験をして興味を持っていただくような仕組みづくりを進めていただきたいと思いますという、していくべきだというふうに強く思います。

まず、ここら辺の取組というか、身近な広報を使って、町が主体となって町内あるいは郡内の若い人たちに呼びかけていく。子供さんと一緒に週末農業体験、こういう仕組みづくりを町に主体となってやっていただきたい、行くべきだと思うのですが、ひとつ町長の考えをよろしくお願いいたします。

○議長（佐藤聡一君） ちょっと待ってください。

12時になりましたが、このまま続けたいと思いますので、よろしくお願いします。

町長。

○町長（中澤恒喜君） 週末ファーマーの話でございます。

昨今、特に畑地は空いている畑がかなりあります。そういったものを利用して、若いご夫婦なり家庭でベテランの農業に従事されている方が先生となって、野菜やそういった作物を、作り方を教えてはどうかという話かと思いますが、当然、非常にですね、いいお話しだと思います。当然こういったものは農協ですとかそういった農業事務所と指導的なものもいただきながら進めていくことが必要かなというふうに思っております。

町としていわびつ体験農園等も町としてございますので、こういったものはすぐにでも利用できるものがございますので、こういった面も利用しながら、ふだん月曜日から金曜日まで会社勤めて忙しい皆さんが土曜、日曜に畑で作物を育てている。そういった状況ができれば、非常に子供たちの教育にも重要な面だというふうに思いますので、今後町としても農協

とか農業事務所の皆さんと連携を取りながら、協力し合いながら検討してまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（佐藤聡一君） 10番、重野議員。

○10番（重野能之君） ありがとうございます。

まとまらない質問で大変申し訳ありませんでした。ありがとうございました。

以上で質問を終わりにいたします。

○議長（佐藤聡一君） 以上で、重野能之議員の質問を終わります。

◎延会について

○議長（佐藤聡一君） お諮りいたします。本日の会議はこれをもって延会したいと思います
が、これにご異議ある方はありますか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（佐藤聡一君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれをもって延会すること
と決定いたしました。

なお、次の本会議は明日6月15日、午前10時から開きますのでご出席をお願いいたします。

◎延会の宣告

○議長（佐藤聡一君） 本日はこれをもって延会いたします。

大変お疲れさまでした。

（午後 零時03分）

令和 5 年 6 月 15 日（木曜日）

（第 3 号）

令和5年東吾妻町議会第2回定例会

議 事 日 程（第3号）

令和5年6月15日（木）午前10時開議

第 1 町政一般質問

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（12名）

1 番	佐 藤 聡 一 君	2 番	齋 藤 貴 史 君
3 番	増 子 京 子 君	4 番	渡 一 美 君
5 番	井 上 日 出 来 君	6 番	高 橋 弘 君
7 番	高 橋 徳 樹 君	8 番	里 見 武 男 君
9 番	小 林 光 一 君	10 番	重 野 能 之 君
11 番	竹 渕 博 行 君	12 番	樹 下 啓 示 君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	中 澤 恒 喜 君	副 町 長	石 村 文 明 君
教 育 長	山 野 邦 明 君	総 務 課 長	関 和 夫 君
企 画 課 長	水 出 悟 君	まちづくり 推進課長	酒 井 文 彰 君
保健福祉課長	小 池 さつき 君	町 民 課 長	寺 嶋 正 春 君
税 務 課 長	堀 込 恒 弘 君	農 林 課 長	角 田 良 信 君
建 設 課 長	福 原 治 彦 君	上下水道課長	高 橋 篤 君
会 計 課 長 兼 会 計 管 理 者	武 井 幸 二 君	学校教育課長	谷 直 樹 君
社会教育課長	加 藤 俊 夫 君		

職務のため出席した者

議会事務局長	西 山 孝 弘
議会事務局 議主 任	田 中 康 夫

議会事務局 議係 長	西 卷 雅 子
---------------	---------

◎開議の宣告

○議長（佐藤聡一君） 皆さん、おはようございます。よろしくお願いいたします。

ただいまより本日の会議を開きます。

（午前１０時００分）

◎議事日程の報告

○議長（佐藤聡一君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

議事日程に従い会議を進めてまいります。

町政一般質問の前に、変則的ではありますが、ここで暫時休憩を取りたいと思います。

予算決算特別委員会を議員控室で開催していただきたいと思います。特別委員会が終わり次第、本会議を再開しますので、暫時休憩を取ります。よろしくお願いします。

（午前１０時０１分）

○議長（佐藤聡一君） 再開いたします。

（午前１０時１２分）

◎町政一般質問

○議長（佐藤聡一君） 日程第１、町政一般質問を行います。

◇ 高 橋 徳 樹 君

○議長（佐藤聡一君） 7 番、高橋徳樹議員。

7 番、高橋徳樹議員。

（7 番 高橋徳樹君 登壇）

○7 番（高橋徳樹君） ただいま議長の許可をいただきましたので、一般質問通告書に基づきまして質問させていただきます。

持続可能な活力ある町づくりということでまとめさせていただきました。

中山間地域におけます持続的発展のためには、それぞれの地域が持つ経済、社会、環境等の多面的地域資源を活用し、健全な発展を長期にわたり維持していくことですが、とりわけ地域経済の発展が重要と考えます。

当町の第2次総合計画後期基本計画（5か年）でも、将来を見据えた魅力のある町づくりのため、4項目の重点施策が掲げられております。いずれの項目も町民の幸福と豊かさを実現するための施策でございますが、今回は、重点施策の③の中山間地域の特徴を生かした産業創出関連を視点に以下質問いたします。

①地域産業の振興とブランド化の推進でございます。

産業振興、ブランド化のこれまでの取組や進捗状況、成果及び課題は何でしょうか。

ブランド向上のために取り組んだ広報活動、予算、振興に波及する宣伝効果は。

経済の持続性を高めていくために町内企業との協力関係を強化する計画はありますか。

産業振興による若者及び女性の雇用促進が重要と考えますが、どのような施策が有効でしょうか。

今後5か年、産業創出のためには、町民、地域内関係企業、団体との連携、協力を図りながら新たな地域資源を自ら作り出す戦略も必要と思いますが、いかがでしょうか。

②観光振興のプラン策定。

観光振興の現状と課題。

地元の町民が主体的に参加、協力する体制の取組、促進はいかがでしょうか。

観光振興が果たす地域経済、雇用、イメージアップ向上等これまでの成果をお聞きます。

今後の新たな観光資源活用の計画及び展望はありますか。

③森林資源の利活用。

森林資源の利活用による現状と課題。

当町の豊富な森林資源の中で、今後、稼げる産業として潜在的な可能性を秘めた産業と考えられます。再生可能エネルギーなどの新たな価値の創出や担い手の強化等、県も推進する

方向のようですが、今後、当町でもバイオエネルギー、森林保護とエコツーリズム等新たな振興策を進めていく計画はありますか。

④企業誘致や起業、創業促進。

中山間地域では、人口減少、経済停滞の中、リモートワークを活用した新しい働き方に合わせて外部からの起業や創業に関心の高い企業や人材の誘致を進めております。当町でも、空き店舗活用等ありますけれども、今後はさらなる経済の活性化や地域のポテンシャルを活かした新しい産業創出の一步に向けて、仕事と休暇を組み合わせたワーケーションやサテライトオフィス等の受け皿となるインフラ環境整備推進を検討されてはいかがでしょうか。また、町内諸団体、老若男女が活用・交流できるにぎわいの拠点づくりには、使用頻度の少ない町有施設の有効活用が必要と思うが、いかがでしょうか。

以上でございます。あとは自席にて伺いいたします。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、町長の答弁を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） おはようございます。

それでは、高橋徳樹議員のご質問にお答えをいたします。

1点目の地域産業の振興とブランド化推進についてでございますが、ブランディングの手法として、おらがまちづくりプロジェクト委員会では、町の特産品の1つであるコンニャクを使用したデビルズタンバーガーを開発をいたしました。地元事業者との連携による販売促進やイベント、フェアでの販売、紙面、SNS、Webによる情報発信などを通じ、ブランド向上のための活動が実を結んでおります。

このほかにも当町には様々な産物がございますので、農林水産物加工品等につきましても、生産者や農業団体への情報提供を行うことやイベント開催などの機会も捉え、国・県等の関係機関とも連携しながら、ブランド化への検討を進めてまいります。

次に、地域経済の持続性を高めるための町内企業との協力関係強化につきましては、極めて重要であると認識をしております。町では、企業立地奨励金制度など企業の成長に結びつく支援策を講じており、産業振興にも結びついているところでございますが、今後も町内企業との協力関係を強化し、地域産業の持続的な発展につなげてまいりたいと考えております。

若者及び女性の雇用促進につきましても重要な課題であり、町の産業振興にとって、若者や女性の活力は不可欠であります。令和2年度に創設をいたしました若者起業支援補助金制

度を活用し、これまでに10名の若い世代の方々が町内で起業され、町の新たな活力となっております。仕事と家庭の両立が可能なワーク・ライフ・バランスの実現にも注力し、より働きやすい環境を作り、若者や女性の起業支援と雇用機会の拡大を図ってまいります。

産業創出のための町民、地域内関係企業、各種団体との連携・協力も新たな地域資源を作り出す戦略には不可欠であります。独自の地域資源を活用した持続的な産業振興の実現には、これらの連携がより大きな成果を生むことにつながりますので、積極的な働きかけが必要であると考えております。

2点目の観光振興プラン策定についてでございますが、当町の様々な地域資源の魅力を最大限活かした取組を進め、歴史・文化資源などをさらに掘り起こして、新たな魅力を作り出し、全国に発信していくことが必要であります。

上信自動車道の開通を見据えた観光振興や地元町民の主体的な活動を支援していくことも重要な課題であります。町では、町民団体の自発的な活動を支援するため、地域活性化事業補助金や観光振興事業補助金などの制度を設けており、これらは町民の活力を通じて地域全体の活性化に寄与するものでございます。制度の積極的な活用により、町民の皆様により町を盛り上げるための活動の輪を広げていただきたいと考えております。

観光振興が地域経済、雇用、地域のイメージアップ向上に果たす役割は、非常に大きいものがございます。一例を挙げれば、自転車型トロッコ事業や道の駅などは、地域の雇用を生み出すとともに、生産者の意欲向上や地域のイメージアップにも貢献しているものと捉えております。観光や地域ブランドの形成により、観光客やメディアの注目を集めることで認知度が高まり、魅力的な場所として知られることが移住・定住も含めた地域全体の発展につながるものと思います。これら観光振興の効果は、長期的な視点を見るべきものでありますので、今後も近隣町村とも連携しながら、観光集客に注力し、地域経済の活性化に貢献してまいりたいと考えております。

新たな観光資源活用の計画につきましては、独自の歴史資源を最大限に活用するため、昨年度、観光協会とも連携し、真田忍者の磨き上げを行い、その成果として、講談プロジェクトマップや忍者修行体験など、様々な忍者コンテンツが造成をされました。今後のインバウンド需要も見据えた吾妻忍者による新たな観光戦略を展開し、国内外に対して町の魅力をより広く、深く知っていただけるよう情報発信をしてまいりたいと思います。

3点目の森林資源の利活用についてでございますが、杉のA材、B材は素材として利用、C材はチップにしバイオマス発電に利用しております。しかし、林業の担い手不足や木材価

格の低迷により、伐期を過ぎた山林が増加をしております。今後は、木材の6次産業化を検討してまいりたいと考えております。

1つには、素材としての活用で、住宅での利用や生ごみ処理機等の製品販売等を考えております。2つ目には、エリアとしての活用として、ツリークライミングやマウンテンバイクのコースとしても山林の活用を検討してまいります。

4点目の企業誘致や起業、創業促進についてでございますが、コロナを経てのリモートワーク、ワーケーション、サテライトオフィス活用の視点は、重要な要素であると思います。既存の町有施設の有効活用も大切なことと認識をしておりますが、これにはタイミングや施設の適正が重要となるため、それぞれの施設の状況を踏まえ、慎重に評価・検討をしてまいります。

また、先日の議員全員協議会におきまして、群馬原町駅南側地区まちづくり計画についてご説明をいたしました。役場旧庁舎跡地につきましては、まちづくりワークショップなどでいただいたご意見を踏まえ、各種イベントが実施できるような暫定施設を整備し、町民の意見を広く聞くなど、町民との協働により住民参加型の社会実験を行っていきたいと考えております。

これらの取組により、多世代交流、にぎわいの拠点形成につなげ、地域への新たな可能性を開くことを目指してまいります。

以上でございます。

○議長（佐藤聡一君） 二次質問ありますか。

7番、高橋徳樹議員。

○7番（高橋徳樹君） 町長、ありがとうございました。

私は、これまでの一般質問で地域資源をフルに活用して、住民の方ですとか企業等々が所得を上げていくことが一番の経済への活性化ということでは大事かなというふうに思っていますが、それはなかなか簡単なことではありませんので、やはり様々な施策を少しずつ、一つ一つ進めていくことかなというふうに思っております。

そこで、いろいろな回答をいただいてありがとうございます。観光のところで、その関連になるんですけれども、町のにぎわいの場ということでございますけれども、今、コロナの感染状況が非常に落ち着いた中で、全国の市町村も非常に祭りとあと名前はいろいろありますけれどもマルシェというんですか、市といいますか、それは非常にいろいろな新聞紙上とかニュースで取り上げられております。

そこで、これまでも東吾妻町につきましては、駅前の朝市、野菜を販売したりとかいろいろあったと思いますけれども、今後、やはり今回ダムの放流で人が集まったというような状況の中、今後そうした場を整備するということが大事だと思いますけれども、町長はこの市場とかそういった集まりについては、どのような効果があるというふうに町長は考えていますか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） マルシェでございますけれども、かつて原町駅前の日曜日に、朝9時から10時頃からですか、町の五、六軒の商店の皆様が集まって朝市的な場を持ったことがあります。目玉をワンパック100円の卵だったですかね。飛ぶように売れていまして、またそういう安さでございますので、我が町にいらっしゃっています外国人の方も一緒に並んで買っていました。非常にいい催しでありまして、非常に活気がありましたけれども、現在は、そのもの自体は行っておりません。ただ、現在も2つの商店が日曜日の10時頃からトラックのところに商品を積んで、そして日曜日毎朝そこで販売をしている状況は続いております。

これは町民の皆様への市だったわけでございますけれども、こういうものが今後観光客を呼べるようなものにしていけば、かなりいいものになるかなというふうには思っております。これには商工会の皆さんとか農協の皆さんのご協力もいただきながら行わなければなりません。また、町にはほかにも大きなスーパーやいろいろありますんで、そこら辺のところの競争関係といえますか、そういうものも理解を得ながらやっていかなければならないということもありますので、今後、そういうものは検討しながら、町の特徴としてできるものであれば、行ってまいりたいというふうには思っております。

○議長（佐藤聡一君） 7番、高橋徳樹議員。

○7番（高橋徳樹君） ありがとうございます。

このマルシェというのは、何か売る商品に関係なくて、生産者ですとか農業者の方ですとか、いろいろ農産物ですとか雑貨ですとか加工品等々、直接販売するに当たって、消費者に直接商品を販売するということで、観光客はもちろんでございますけれども、やはり地元の方の人との交流という面でもかなりメリットがあるというふうに聞いております。

確かに、これを継続的に続けるということが大事なことだと思いますので、商工会ですとかJAですとか、観光協会等々のこれまでもいろいろ進めてこられたと思いますけれども、今の情勢の中で、もう一度町が機運を高めていただくためのこういう場の集まりのところの設定を、民間団体も含めて、そういう環境整備を一層進めていただければなというふうに思

います。

役場の跡地のところの活用につきましても、場所的にはそんなに広くはないんでしょうけれども、その辺のところ、とにかく人が集まる場を作ることでのお願いでございますけれども、その辺、町長、機運を盛り上げていただく、いろいろな諸団体に行政が旗振り役でお願いしたいと思いますけれども、よろしくお願いします。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 高橋議員のご提案でございますけれども、先ほどお話ししたようなこともございますので、今後、十分役場の担当課、また関係する課と協議を重ねて検討を進めてまいりたいと思います。

○議長（佐藤聡一君） 7番、高橋徳樹議員。

○7番（高橋徳樹君） ありがとうございます。

人との交流の場を作ることの中で、もう大分広まったあれですけれども、ワーケーションについて、町長はどんな考えを今お持ちでしょうか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） そうですね。官公庁が提唱しているワーケーションでございますけれども、これも非常に地方にとって魅力的な1つの提案だというふうに思っております。我が町にもこれに対応できるような条件というものは大いにあるわけでございますので、我が東吾妻町には、農業につきましても、農業の忍者と言われるような指導的な方もいらっしゃるわけございまして、そういう方が都会部からいらっしゃる方に、農業について体験をいただいて、そして教えていただいて、そしてそれがいずれ移住につながっていくようなことになれば、非常にいいかと思しますので、そのワーケーションにつきましても、しっかり研究をして、検討してまいりたいと思います。

○議長（佐藤聡一君） 7番、高橋徳樹議員。

○7番（高橋徳樹君） ありがとうございます。

ワーケーションにつきましては、いろいろ本当に型があるみたいで、休暇型と業務型というものの大別の中で、我が町ではやはり業務型というようなことの活用が可能なのかなというイメージがあります。いろいろな会社の宿泊施設がなかなかこの町には少ないということの中で、やはり合宿をしてもらおうとか、あるいはサテライトオフィスの中で業務をしてもらおうということの中では、私、前からいろいろ問題意識の中でいろいろ東吾妻町の町有施設の中で、榛名の湖岸のところ辺の施設につきましては、かなり私が描いているイメージと非常

に合致して、そこだけではありませんけれども、非常に時代がまたその町有施設の活用ということのきっかけになるのかなというのが1つの思いとしてあります。

もちろん、住民の方の様々ないろいろな文化団体等ございますので、そこでの活用、またやはり外部の方の交流人口という中での活用、ロケーションも考えたりすると、先ほどもお話ししました業務型のワーケーションという面での活用についても、そういった施設が活用できるのかなというような考えがありますけれども、その他ほかの町有施設についても、いろいろまだちょっと細かいもっと活用できるところがあるのかもしれないけれども、その辺について町長はいかがお考えでしょうか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 今、高橋議員のお話の中に、榛名湖畔の憩いの家の利用というふうなお話も出てまいりました。ああいうところに体験をしていただいて、そして東吾妻町を知っていただいて、移住をしていただくような道が開ければいいかなというふうに思っておりますけれども、憩いの家につきましても、その利用の仕方について広く今考えていくところがございますので、ワーケーションとうまく結びつけるようなことができれば、当然、憩いの家につきましても、利用していきたいというふうに思っております。

いずれにいたしましても、高橋議員、非常に視野の広い方でございますので、いろいろなご提案いただきますので、ありがたく思っております。

○議長（佐藤聡一君） 7番、高橋徳樹議員。

○7番（高橋徳樹君） ありがとうございます。

それと、ちょっと話は戻るんですけれども、マルシェということの中で、皆さん既にご存知だと思うんですけれども、全国的に非常にどこもかなりすごい数で軽トラ市とか何かいうのがあって、それはかなり農産物も豊富でいろいろな出店者が多くて、ちょっと大きな都市部でございますけれども、その軽トラ市等とかそれらの準備等も含めて、そういった広いところでは、カインズの下の運動場とか何か、その辺の活用とかも今後考えながら、あるいは道の駅とか、そういったちょっと年数もかかるんでしょうけれども、にぎわいの場を作るための適地といいますか、いろいろ町内にもあると思うので、車も今後使った中でのそうした人の集まる場所みたいなところも作っていただければなとそういうことも考えて、今後、そういった需要がさらに増えてくるのかなと思いますけれども、町長、軽トラ市とかどんな考えですか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 東吾妻町には、農家の方を中心に軽トラというのは何台あるでしょうかね。かなりあると思います。こういったものの有効的な利用にもなるかと思いますが、集まる場所としては、非常に多くあると思います。広い場所もあると思いますので、そういった意味で、農家の方のご協力とか農協の皆さんのご協力、直売所の皆さんのご協力等が得られれば、そういった場所を設定をして、軽トラ市のようなものも開くことができるかと思っています。

今後の1つの課題というふうに捉えてまいりたいと思います。

○議長（佐藤聡一君） 7番、高橋徳樹議員。

○7番（高橋徳樹君） ありがとうございます。

それでは、ちょっと中身を変えます。林業資源の活用ということでございます。

やはりいろいろこの町の産業振興ということで考えますと、やはり農林業が振興なくして経済のあれはないんだろうなというくらいの、私は基本は農林業の産業振興なり活性化だなというふうに考えています。

今回は、ちょっと林業のほうのところで再生可能エネルギーということで、今、世界情勢の様々な動きの中で、化石燃料等々値上がりの中で、非常にこの再生可能エネルギーが注目されて、本当に国も県も、またいろいろな自治体でも取り組んできております。

そこでちょっとお聞きしますけれども、この木質バイオエネルギーにつきましては、当町では十二、三年前ぐらいですか、吾妻バイオというんですか、ここの会社がそういった構想の中で進められたというふうに聞いていますけれども、固定資産税か何かの収入等の裨益はあるんでしょうけれども、もう少し町にメリットといいますか、そういう中で考えた場合に、もう一度新しい動きといいますか、町長もご存知だと思いますけれども、最近、バイオの熱の関係で上野村が大胆ないろいろな構想を打ち上げましたし、それから長野原町が家畜のふんを使った等々あります。やはりこの町の町有施設が1,000ヘクタール、また坂上が400ヘクタールぐらいの森林組合の中で、やはりなかなか大型ということではないんでしょうけれども、この木質バイオの発電なり熱利用なり様々なあれがありますので、今後、重点施策として、またちょっと先になりますけれども、大柏木のほうにごみの施設等々の動きもございますので、その辺、長期的なスパンでやはりあまりお金がこの地域内で回るような、あるいは町民の方に利益が還元されるような可能性というのが非常にあろうかと思いますが、町長、その木質のバイオの燃料の活用についてはどのようなお考えでしょうか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 東吾妻町は、自然エネルギーを活用した施設として吾妻バイオのバイオマス発電所、また町でPFIでやっております箱島の小水力発電所、また最近は大規模タイプのゴルフ場跡地の太陽光発電所、坂上にも大きな太陽光の発電所がありますけれども、こういったところで自然エネルギーの活用というのが進んでいるわけですので、今後森林資源のバイオマス、お話にあったような杉のA材というのは、いわゆる柱材というものでございまして、B材が集成材に使う材料で、C材というのは今までは森林内に放置されてきた使われない材がCだったんですけれども、これをバイオマスチップにして発電所を持って行くということでお金になるということになったわけで、非常に利用度ができてきたわけですので、このバイオマスチップを利用したものをさらに進めていくことは、議員おっしゃるとおり必要だというふうには思っております。

今後も町としてやるのではなく、有力企業等との連携をしながら、こういった施設を町の中に増やしていくということは、非常に東吾妻町にとっても有益なことだというふうに捉えておりますので、今後、検討を重ねていきたいと思っております。

○議長（佐藤聡一君） 7番、高橋徳樹議員。

○7番（高橋徳樹君） ありがとうございます。

あと、林野庁が進めております木材の需要のさらなる創出ということで、地域内エコシステムというのがあるようでございます。これらの予算、今後活用ができるのであれば、やはり地域内でエネルギーの地産地消といいますか、お金の流出を防ぎながら地域の活性化または地域関係者でありますとか山荘を持っている方の利益還元を目指すためのシステムの事業が林野庁からいろいろ事業が行われていますので、それについてこの町でも進めていけるものがあれば、ぜひこういった制度も取り入れて、将来的には小字のいろいろな山の中のか、いろいろな地区ごとの中にそういった小規模的なもので少しでも今の生活の中の所得が増えていくような地域内のエコシステムを活用するような流れといいますか、そういったものをちょっとシステムを作っていけばいいのかなんていうイメージがあるものですから、いろいろなこれから研究なり調査なりが大事だと思いますので、ぜひ所管の職員の皆様にも、やはり今後、県とか国の様々なそういった情勢を予算等々素早くキャッチして進めていただければと思いますので、ちょっとこのたまたま見た林野庁の地域内エコシステムというのがなかなかこの町に意外と合うのかなというようなイメージがあるものですから、町長、その辺はいかがでしょうか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 議員のお話にあるのは、いわゆる木質バイオの話に限っているわけ
ございますね。

○7番（高橋徳樹君） いや、熱とかも……。

○町長（中澤恒喜君） それは、バイオチップを燃やした上で熱を利用するということですか。
はい。

非常にそういう面では、東吾妻町におきましては8割が森林だということで、各地区には
いわゆる共有林、地区ごとの皆様が所有している山林があるわけでございますので、そうい
うものを利用した上で、そういった事業を進めるということも可能かなというふうには思っ
ております。

バイオマスチップ以外にも小水力なりそういうものも地域内でいい水源地がございますれ
ば、そういったものも考えられるというふうに思います。各地区でエコの取組ですか、そう
いうものがこれからも進んでいけばいいかなというふうには思っておりますので、林野庁の
事業等も参考にしながら、取り入れることができれば取り入れて進めてまいりたいと思いま
す。

○議長（佐藤聡一君） 7番、高橋徳樹議員。

○7番（高橋徳樹君） ありがとうございます。

森林環境譲与税のことでちょっとお聞きしたいと思います。

今、全国でそれぞれの地域の人口割ですとか林業の従事者の割合の中で、環境譲与税の税
金が活用されておりますが、この町でも杉並との連携の中で、何か杉並のほうの今回のこの
環境譲与税の予算につきましては、ちょっと見たら令和3年度が5,000万円ぐらいの予算で
ございました。それから、我が町は2,000万円いかないぐらいだと思うんですけども、そ
ういった中で、今後、交流の中でなかなかこっちからの要望だけでは難しいんでしょうけれ
ども、まず森林整備ということと、あと担い手のその辺の確保の中で、お互いに、都市部
につきましては多分建築でいろいろ木材を活用したりとか、教育面での子供たちの何かそうい
ったあれを活用したりしていると思うんですけども、その辺でお互いにウィン・ウィンに
なるような何か活用が必要なのかなと思っていますけれども、なかなか難しいとは思いま
すけれども、町長、それについてはいかがですか。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 森林環境税、現在譲与税でございますけれども、これは人口割部分と
いうのはかなり多いんですね。ですから、杉並は森林はないんですけども、人口の割でか

なり、年間5,000万円ぐらい入りますかね。という話でございます。東吾妻町は、森林は非常にありますけれども人口は少ないので、2,000万円ちょっとだというふうには思っておりますけれども、杉並区につきましては、今、議員がおっしゃったように、木材の施設を造ることに使えるわけです、その譲与税をですね。そういうことで実績を上げているのかというふうに思います。

ただ、東京都全般にすれば、飲んでいる水は群馬県の山の森林の中から私たちが森林整備をすることによって水を生み出して、安定して水を提供しているわけでございますので、その面からしても、杉並区が東吾妻町の町有林の森林整備、手入れにお金を出すということは非常に理念として成り立つのかなというふうに思いますので、そういう面からして、交流関係にあるわけでございますので、それを切り口に杉並区に分配された譲与税、森林環境税を東吾妻町に投入していただくというふうなことは、これからもお願いをしていきたいというふうには思っております。

○議長（佐藤聡一君） 7番、高橋徳樹議員。

○7番（高橋徳樹君） ありがとうございます。

木材バイオマスの活用についてですけれども、様々なメリットの中で、やはり先ほどちょっとダブりますけれども、今後、杉並なり県庁との職員の方のリスクリングといいます、いろいろな新しい技術を本当に五、六年先を見据えて、そういった人事交渉の中で町の職員の方がそういった違う場所でちょっとそういう人事交流といいますか、そういった面は町長、どんなお考えでしょうか。そういったことも必要なのかなと思っていますけれども。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 人事交流といいますか、これにつきましては、群馬県と行っておりまして、一昨年に企画課の職員を県の市町村課のほうに1年間派遣をしました。これにつきましては、財政を主に担当者でございまして勉強していただきました。また、県土整備部関連の建設技術センター、これにつきましても一昨年、建設課の若い職員を1年間派遣いたしました。土木事業関係の施工管理等を学んでいただきました。1年経験して、そして土木施工管理技士2級を取得することができたと。1年間でそういう成果を上げてまいりました。派遣すれば、もう本当に職員に身になることが学べて、また町にとっても非常にいい効果をもたらしますので、こういった交流人事はこれからも進めてまいりたいと思います。

また、市町村課のほうにはもうこれからすぐにでも派遣していきたいというふうには思っておりますけれども、役場内の職員の数、人数的なものもありますので、なかなか本来の仕

事が回っていかないような状況になると、またそれもまずいことになりますので、そういうものを見計らいながらこの人事交流というのはしっかりと行ってまいりたいと思います。

また、杉並区との人事交流の話もかつてはあったわけですが、当時はやはり役場職員の数の問題で、非常に各課忙しくて、なかなか派遣できる状況になかったものですから、派遣できませんでした。これからは区長さんも替わりまして、今後、どういう考えになっていくのかちょっと分かりませんが、そういう方向でこれからは続いていくな、町としては、杉並区にも職員を派遣して学んでいただくと、経験をしていただくということも必要なというふうには思っております。

○議長（佐藤聡一君） 7番、高橋徳樹議員。

○7番（高橋徳樹君） ありがとうございます。前向きな答弁いただきましてありがとうございます。

再生エネルギー活用につきましては、非常に今SDGsとか持続的なこういう精神に基づきましても、これからさらにそういった視点でますます事業が日本中進められると思うので、この総合計画の中でもエネルギー分野について、若干事業的なスクラップ・アンド・ビルドは柔軟にやりますという話はお伺いしていますので、その辺の中でこういった森林の活用についての農業も含めた農林業の産業育成ということの中での重点を、ちょっと予算づけも含めてお願いできればというふうに思います。

最後になるんですけれども、副町長にちょっと。ご期待のちょっとあれなんですけれども。今、人生いろいろな様々なキャッチフレーズ、この100年時代の中で、我々も年を取っていろいろ今までとなかなか変わらないというわけにはいかないという状況になってきております。

特に、私自身も含めてなんですけれども、なかなかシニア世代の方につきましては、これから様々な社会情勢等に耐えられないとか、また適応できないということが大きなリスクになってきている状況ではございます。

そうした中で、やはり当町におきましても、執行部の中での非常に重要な人事異動がございました。私は、変化というのは新しいチャンスの到来というふうに思っております。発想の転換ですとか前例等のやり方を見直すよい機会だというふうに考えております。

今回、改めまして副町長がかつて務めていただきました監査報告の議事録を読ませていただきました。そこに最後に非常にいい発言がございました。その中で、「コロナを乗り越えてチャンスを見出して逃さず、果敢にチャレンジしていく行政を要望いたします」という言葉がございました。私も今回の4月の町民の方へ向けてのパンフレットの中で、全くその辺

については、私も同じような考えで進めていただけることが一番大事かなと思っていますので、その辺、ぜひ今後の副町長就任のお祝いとともに、期待の中で、一言ちょっと最後をお願いしたいなと思います。

○議長（佐藤聡一君） 副町長。

○副町長（石村文明君） このたび副町長に拝命いたしまして、心新たに町民の一人としても職員の皆様と一生懸命町の町民の幸せと元気のために頑張っていきたいと思いますが、まず最初に、ライフシフト人生100年時代にどうやってこの町をやっていくかというようなことでございますが、まず、町民の健康寿命、そういったものをどうやって伸ばしていくかということが大切なことと思っています。

それから、監査報告で、果敢に町の発展のためにチャレンジしていきましょうということにつきましては、やはり今、上信道が横断しようとしているところでございます。県としても県土整備予算を重点的にこの町に投入しました。延長20キロです。80キロのうちの当面40キロですが、その半分以上を今この町に投入しているところでございます。これがやはりこの町の産業である建設業であるとか、それから個人の用地のところの収入にもなっているわけです。そういったところのチャンスをちょっと言ったわけですが、一方ではリスクもあると思っています。そのためのリスクというのは、やはりストロー現象になる可能性もゼロとは言えないと思うんですよ。そういったところを乗り越えて、皆様とこの町の発展のために頑張っていきたいと思っています。

以上でございます。

○7番（高橋徳樹君） ありがとうございます。

○議長（佐藤聡一君） よろしいですか。

○7番（高橋徳樹君） これで終わります。

○議長（佐藤聡一君） 以上で高橋徳樹議員の質問を終わります。

ここで休憩としたいと思います。

再開を11時10分とします。よろしくお願いいたします。

（午前10時59分）

○議長（佐藤聡一君） 再開いたします。

◇ 齋 藤 貴 史 君

○議長（佐藤聡一君） 続いて、2 番、齋藤貴史議員。

（2 番 齋藤貴史君 登壇）

○2 番（齋藤貴史君） ただいま議長の許可を頂戴いたしましたので、不慣れではありますがけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

若年デジタルクリエイター人材育成拠点「t s u k u r u n」の東吾妻町サテライト開設と、そこから切り開く深刻な少子化問題についてということで、少々テーマが長いですが、質問させていただきます。伺いたいことは結構たくさんあるんですが、ちょうど群馬県が魅力的な募集を開始したところでしたので、ポイントを具体的に絞って質問させていただきますと思います。

唐突ですが、皆さん「t s u k u r u n」ってちょっとはご存知だったりしますか。趣旨説明、ちょっと長くなりますが、群馬県では、全国初のデジタルクリエイティブに特化した若年人材育成拠点として昨年春に「t s u k u r u n」を開設しました。小・中学生から最先端のデジタル機材やソフトウェアで実践的な創作活動を行う全国初の施設です。次世代で活躍するデジタルクリエイティブ人材を育成しています。

これは、群馬県の新群馬県総合計画で示す3本の柱の1つで、群馬のクリエイティブ拠点化というものがありまして、その土壌づくりの事業と言えます。そして群馬県は、今年度、「t s u k u r u n」につきまして、サテライト支援事業というものを始めました。これ要望のある県内の各自治体に「t s u k u r u n」の整備・運営ノウハウの提供や共通システムの導入など、県独自の支援でデジタル人材育成環境を広げることになりました。これについては、来年度以降の募集については全く白紙ということで、もしかすると今年度に限った事業であるかもしれないと伺っております。

一方、当町の状況ですが、皆さんご存知のとおり深刻な少子化に直面しています。東吾妻町の中学校はこの春の卒業生が100人ぴったりでしたけれども、つまり彼らが生まれた2007年前後の東吾妻町の出生数というものが約100人。その後、2014年65人、2018年48人、昨年度2023年には31人になっています。15年で3割になってしまったと。

先週、厚労省が発表した全国出生数は1.26と。全国の数字をベースにして考えると、東吾妻町の30年後は出生数18人、100年後で見ると7人ほどになります。当町の出生率は、全国平均よりも低くて令和3年の時点で0.91ですから、さらに先ほど副町長からお話ありましたような上信道の弊害として懸念されるストロー効果などで人口流出もさらに進むと考えると、30年後には10人を切ってしまうんじゃないかと思われます。もしかすると、今すぐ手を打ってもこれは手遅れなのかもしれませんけれども、まずはこの抜本的な解決策になるかどうか分かりませんが、1つの少子化をゲームチェンジしてくれると思われるのが、今回私が質問させていただきます、そして県が機会を提供してくれております「t s u k u r u n サテライト」であると考えています。

これ、仮に東吾妻町が受入れまして、県の支援の下で少ない投資で高い信頼とブランド力を得まして、全国初の町営デジタル人材育成塾のようなものを持つことができるわけですが、町教育委員会では、現在、町のプログラミング学習、ICT教育というものについては、恐らく人材面や教員多忙化防止の面などから、なかなか大きな実績を生めない状況であると認識しております。

現在、前橋市のJR前橋駅前に「t s u k u r u n」はありますが、そちらの登録者数は700人余り。そのうち東吾妻町からの登録もどうやらあるようで、ただ比率は0.1%。つまり、県の優れた教育機会があっても、東吾妻町の子供は通うことは困難であって、教育格差がデジタルの面でも生まれているのではないかと思います。

そんなところで、町営の「t s u k u r u n」というものが仮にできるとすると、町内の子供は、望めば例えば無料で高度かつ実践的なデジタル教育を受けることができます。東吾妻町の子供でなければ入れないと、入塾できないとするならば、このサテライトがあるだけでも子育て世代の流出を防いだり、東吾妻町の子供の教育機会を求めての転入増加に結びつくかもしれません。ここで育った子供たちが生きる力、実践力を身につけ、町に誇りを持つことにつながるのではないかと思います。

仮に、たとえ中学校の卒業生が10人を切ってしまったとなっても、その10人の大多数がスーパーハイクラスデジタルクリエイティブ人材だとしたら、それはそれで全国的にも秀でた教育ということになりまして、全国から注目を浴びることになると思います。注目だけでなく、近い将来の町の人口動態ですとか、ベンチャー企業数の増加、産業集積に劇的な変化を結びつけることにつながるかもしれません。

以上の観点から、本年度の群馬県「t s u k u r u n サテライト」事業に沿って、当町で

のサテライト開設をぜひ何としてもこぎつけてほしいと考えております。

先日、県が開催したリモートの説明会というものがありました。これ私参加させていただいたんですけれども、参加自治体は県内6自治体でした。大きいところでは高崎市とか桐生市なんかがありまして、北毛ではほかに嬭恋村だけでした。説明会を経て、各自治体ともちょっと後ろ向きの意見が多くて、恐らく応募する、手を挙げるところは少ないと予想されます。自治体にとっては、それを見ると魅力のない県の事業と受け取られているかもしれないんですけれども、当町の現状には実はベリーマッチな事業であると考えています。

例えば、昨日、重野議員が質問の中で当町の子育て支援の充実を高く評価されていたりしゃいましたけれども、やはりこの子育て環境への高い意識というものが、まず当町にはベースとしてあります。また、第2次総合計画後期基本計画の重点施策2のところで、若い世代が魅力を感じるまちづくりを進める、その方針にもマッチします。また、教育委員会の未来を担う子供に生きる力を育む教育の推進。子供から大人までより多くの住民が学び楽しみながら主体的に学べる生涯学習社会の振興といった教育基本方針にも沿っているかと思います。

さらに、部活動の地域社会への移行のもしかしたらモデルになるかもしれず、吾妻高校の統合以来、中心市街地の沈滞化がますます進んでいるわけなんですけれども、先ほどまた町長からお話ありました原町駅南部、旧役場跡地再利用問題、これにも適用できるかもしれないと考えております。東吾妻町が今こそ真っ先に取り組むべきアクションではないかと考えています。

ついでに、折しも群馬県の吾妻県税事務所の所長さん、この春に齊藤所長に変わられましたけれども、吾妻振興局長も兼任されていたりしゃいますが、齊藤所長、昨年春に「t s u k u r u n」を県で立ち上げたときに、それ準備段階から担当課長ということで、吾妻への「t s u k u r u nサテライト」開設について、全面的な協力を申し出てくださいっております。これは、少子化問題をゲームチェンジすると、東吾妻町を。その最大のチャンスであると考えます。

一見、優先度は低い案件に思われるかもしれませんが、例えば、昨日も竹渕議員のほうからありました深刻な水道の問題等々ありますけれども、そうした多くの地域社会が抱える問題というのは、やはり根本的には少子化、人口減少、そこに起因していると思います。教育こそが若い世代の町への定着化につながる最大の対抗策であると考え、以上の趣旨から、子供たちが目を輝かせて楽しみながら学ぶ町づくり、これに地域の希望の光をともらいたいと考え、質問をさせていただきます。

まずは、3つ質問をさせていただきます。町で主体となっている住民との意見交換、協働の委員会、各種アンケートなどで、これまでに若い世代からデジタル拠点、eスポーツ、ゲーム・アニメ産業などの誘致ですとかICT教育、デジタル教育へのニーズなどご意見は、どの程度寄せられておりますでしょうか。

2つ目、県が今年度市町村に募集をかけている「t s u k u r u nサテライト」につきまして、町の少子化対策の現状と今後の見通し、そして町のICT教育の現状と見通しを踏まえて、検討状況をお聞かせください。

3つ目、東吾妻町は、既に少子化の激しい渦の中にあるわけですがけれども、この地域存亡の危機の中で、ここ数年の教育総合会議などでも私が何度か申し上げていただいておりますが、全町レベルでの真剣な少子化対策会議を立ち上げるべきと考えておりますけれども、この点につきまして、町執行部のご意見をお聞かせいただきたいと思います。

以上になります。この後は自席のほうで発言させていただきたいと思います。

○議長（佐藤聡一君） 続いて、町長の答弁を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） それでは、齋藤議員のご質問にお答えをいたします。

「t s u k u r u nサテライト」の設置につきましては、深刻な少子化問題に新たな視点と解決策を提供していただいたと感じております。

1点目の住民との意見交換や協働の委員会などで寄せられた声についてでございますが、これまでのところ、デジタル拠点、eスポーツ、ゲーム・アニメ産業などの誘致及びICT教育機会についての直接的な要望というものは、確認をされておられません。

しかしながら、これは意見が存在しないことを意味するものではなく、社会進化によって若い世代や子育て世代にとってこれからのニーズは重要であり、ある一定の意見が潜在していることは十分に理解をしているところでございます。

次に、2点目の「t s u k u r u nサテライト」についてのご質問でございますが、群馬県の支援を受ける中で、当町が先進的なデジタル人材育成環境を整備・運営することが可能となることは理解をしております。これは、我々の町にとって大きなメリットとなることも理解することでございます。

しかしながら、少子化問題という現実と直面する中で、またICT教育の現状と見通しを踏まえた上で、この「t s u k u r u nサテライト」を実際に導入することが町の未来にと

って最善の方法であるかどうかは、慎重に検討する必要があると考えております。今年は、事業に対してのニーズを把握するため、中学生を対象とした出張「t s u k u r u n」を今年度中に予定をしております。簡単なゲームを作るゲームプログラミングを体験する中で、興味が持てる機会を設けていきたいと考えております。

その中で考慮すべきは、本事業が町の少子化対策に確実に寄与するという確証が現時点では明確に持てていないということ、またこの事業推進が将来的な財政負担を伴うという点にございます。これらを踏まえた上で、今後十分に検討する必要があると考えております。

3点目の全町レベルでの少子化対策会議の立ち上げについてでございますが、町といたしましては、少子化対策について、20歳から39歳までの若年層世代の人口増の実現として、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で明確に位置づけ、各事業を推進しているところでございます。

一方で、議員ご提案のように、時代に即した新たな視点を取り入れることも重要だと認識をしております。そのため、ご提案も踏まえた中で、今後の少子化対策やICT教育環境の整備について、さらなる検討を行っていく必要があると考えております。

東吾妻町の未来を共に築いていくために、町民の皆様の声や提案を真摯に受け止め、検討を重ねてまいります。

以上でございます。

○議長（佐藤聡一君） 2番、齋藤貴史議員。

○2番（齋藤貴史君） 町長、大変唐突なお願いといえますか、無理を承知な話だったんですが、とても前向きにそして慎重に検討いただけるということで、大変ありがとうございます。

先ほどの町長のご回答の中で、町民からの具体的な意見というのはまだ来ていないんだよというお話でしたけれども、ちょっと私も昨夜調べまして、東吾妻町の都市計画マスタープランの策定のためのアンケートというのがありました。中学生アンケートがここで行われていました。中学生アンケートって、何か実際あまり行われていないみたいで、これぐらいしか見つからなかったんですが、その中で、将来の町づくりのキャッチフレーズについて調査というのがありました。いろいろなキャッチフレーズの中で、中学生はどれを好むのかということですが、もちろん、「にぎわい」というのが31.1%で断トツのトップ、続いて「子育て世代」と「自然」というのがそれぞれ18.9%、約2割。要するに、にぎわいと子育てとか自然、これでもう大半で、中学生たちはそういうものを望んでいるということが見て取れま

した。

にぎわいはいろいろイベントですとかお祭りですとかあると思うんですけれども、こういったデジタル拠点といいますか、華やかといいますか、楽しいものというものもその1つなんだと思っております。18歳以上の10代、20代、30代も同様の結果でございました。

東吾妻町の人口ビジョン、東吾妻町の総合戦略でも、先ほど町長おっしゃられましたように2040年で1万人の人口維持を目指すという至上命題を持っておりまして、20歳から39歳までの若年層世代の人口増の実現を人口減少対策の方向性として設定しております。

その中で目指す町の姿として、産業が成熟した町、子育て環境が充実した町、教育環境が成熟した町としています。さらに踏み込んで具体的な未来像として起業を目指す若者を支援することにより、さらに若者定住者が増加している。町外の子育て世代の移住者が増加している。東吾妻町の教育を受けさせたいと思う保護者が増加し、教育機会を求めて町外からの定住者が増加しているとともに、学生の卒業後の町内の就職定住により、若年人口が増加しているという未来像、目指す町の将来像が描かれています。

そうした町の各種計画を拝見しますと、少子化を食い止めるために、やはり若い世代のニーズを捉えるのがまず肝心であると思います。そのためには、今のところ打開策は、恐らくこれというものはないと思われますけれども、少なくとも「t s u k u r u nサテライト」は住民のニーズに沿い、行政の計画を後押しするものであると私は確信しております。というか、これやらない手はないんじゃないかなというところまで考えておりますけれども、同じような質問でしつこいようなんですけれども、こういった住民アンケート、統計、データ、そこから導き出されている計画を踏まえての意見をまたお伺いしたいと思います。

先ほど、少子化対策ですとか教育、ICT教育という切り口で質問させていただきましたけれども、こういった具体的な声とか計画に基づいて、簡単で構いませんのでもう一度よろしくをお願いします。

○議長（佐藤聡一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 齋藤議員の先ほどのご説明の中に、スーパークリエイティブな子供たちという言葉がありましたので、非常にインパクトがありました。そういった子供たちがこの町から育っていけば、非常に私もいいな、期待できるなというふうに思っております。

ご指摘の「t s u k u r u nサテライト」につきまして、今後の町、将来に向かっての子供たちの教育等に非常に重要かつ効果のあるものだとは私も思っておるところでございます。こういったものは、まだまだ町の段階ではなかなかその内容、仕組み等が理解されていない

中でございます。今後、財政的な面等も十分検討しなければなりません。そういうものも十分に検討しながら、この「t s u k u r u n」につきましては、前向きに取り組んでまいりたいというふうに思います。

○議長（佐藤聡一君） 2番、齋藤貴史議員。

○2番（齋藤貴史君） ありがとうございます。今後の検討に大変期待したいと思います。

私から具体的な質問というものは以上になるんですけども、時間もちょっとあるので、全国の事例を紹介させていただいて終わりにしたいと思います。

あと、その前に、先ほど中学生の意見ですとかが町内のいろいろな計画の中であまり見受けられなかったと。18歳以下の声というものはあまりなかったという実感がありますので、今後、いろいろ計画なんかもされる場合には、若い人の実際の声というものをもうちょっと吸い上げるような努力をしていただきたいと思います。

全国的な事例ですけども、私、かなりの自信を持って教育こそが少子化への最大の対抗策と考えておるわけですけども、全国的な事例としましては、島根県隠岐の島の海士町というのがあります。「海」の武士の「士」と書くんですけども、これズバリ過疎からの脱却を果たして、地域を復興に導いた教育改革という町でございます。隠岐の島には、高校は隠岐島前高校。島の前の高校と書く、島前高校1つしか島の中に高校はありません。島にいと学力が伸びなくて、大学進学に不利なんだよというそういう雰囲気になっていまして、大学進学を希望する生徒の多くは、中学卒業とともに家族ごと島を離れて松江市とかに移住すると、そういう島でした。

その結果、2000年頃には若い世代が減り続けてしまいまして、過疎化が深刻になっていました。2008年には、島前高校の入学者が28人になってしまいました。離島であっても、子供たちの教育環境づくりこそが顕著に求められていったと。

そこで、当時の町長が議会の英断で2009年に生まれたのが地域と高校の連携型公営塾「隠岐学習センター」です。起業家精神の育成に定評のあった民間の講師によりまして、「生徒の自立と個性の確立」、「隠岐島前高校との連携」、「夢ゼミと呼ばれるディスカッション」、この3つを柱とした教育を行いました。

それによって、何と、島前高校の生徒の偏差値が飛躍的にアップしまして、もうその年、2009年の開設当初の塾生は数名から30人ぐらいだったんですけども、半数以上がもう大学に現役合格。島根大とか大阪大学の国公立の大学から在京の一橋大学などの有名大学へと巣立って行っったと。これによって、隠岐の島の人口流出は止まったと、わずか数年で。逆に

関西圏とか関東圏から海士町すごいぞと言って、I ターンの留学生が来るようになったと。島前高校の入学者はもちろん増えて、4 年後には塾の生徒が100人以上に増加、2018年度以降は高校年代の3 学年合わせて130人が通うようになっています。大学進学で島を出た人材もUターンで島にまた戻って来て就職したり、ベンチャーを興したり、行政職員になったり、人材が増えたことで行政、議会の質も非常に高まったと聞いています。

補足なんですけれども、この海士町に、高級食材のナマコを養殖して加工して中国の富裕層に販売しているという青年がおるんですけれども、それ実は、うちの町の東地区の箱島の出身の子で、私の10個ぐらい下なんですけれども、宮崎君という方です。そういう子がVターン、群馬からここに行って活躍されています。

そういうものを見まして、やはり教育というものは、短期間のうちに地域を変えられると思っております。海士町は特別な取組かもしれませんが、長野では海士町を参考にしたまた公営の学習塾を開いているところもあります。

今、これに似たアクションが東吾妻町は県のおかげといろいろな地域の環境も相まって、大チャンスが来ていると思っております。「t s u k u r u n」のキャッチコピーというのは、「ワクワクから生まれるクリエイティブなこと」というんですけれども、少子化とか高齢化とかと言っていると、やはり打ち沈んできちゃうわけなんですけれども、やはりワクワクする町じゃないと、若い人って近づかないし残らないので、やはりワクワクから生まれるクリエイティブな少子化対策と。ここにいる皆さんでぜひ取り組んでまいりたいと思っております。

以上にしまして終わりにいたします。どうもありがとうございました。

○議長（佐藤聡一君） 答弁よろしいですか。

○2 番（齋藤貴史君） はい。

○議長（佐藤聡一君） 以上で齋藤貴史議員の質問を終わります。

これをもって、町政一般質問を終わります。

○議長（佐藤聡一君） お諮りいたします。会議規則第45条の規定に基づき、本会議の結果、その条項、字句、数字その他整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思います。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(佐藤聡一君) 異議なしと認めます。

したがって、条項、字句、数字その他の整理は議長に一任することに決定いたしました。

○議長(佐藤聡一君) お諮りいたします。本定例会に付した事件は全て終了いたしました。

したがって、会議規則第7条の規定により、本日をもって閉会にしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(佐藤聡一君) 異議なしと認めます。

したがって、本定例会はこれをもって閉会することに決定いたしました。

これをもって本日の会議を閉じます。

◎町長挨拶

○議長(佐藤聡一君) 閉会の前に町長の挨拶をお願いいたします。

町長。

(町長 中澤恒喜君 登壇)

○町長(中澤恒喜君) 令和5年第2回定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

去る6日に開会をされました今期定例会におきまして、副町長の選任についてなど人事案件6件、令和4年度東吾妻町一般会計繰越明許費繰越計算書についてなど報告関係2件、東吾妻町犯罪被害者等支援条例についてなど条例関係5件、令和5年度東吾妻町一般会計補正予算など予算関係2件、工事請負契約の締結についてなどその他2件、合わせて17件を提案させていただき、全て原案どおりご議決をいただき、本日、閉会の運びとなりました。

今回の審議の中で、議員の皆様の多岐にわたるご意見等を真摯に受け止め、今後の町政の執行の中で生かしていく所存でございます。

終わりに、議員の皆様方には、公私ともにご多忙な日々が続くと思いますが、健康には十分ご留意の上、地域の活性化や町の振興発展のために今後ますますご活躍をいただきますようお願い申し上げまして、閉会の挨拶といたします。

誠にありがとうございました。

◎議長挨拶

○議長（佐藤聡一君） 閉会に際し、一言ご挨拶を申し上げます。

令和5年第2回定例会は、6月6日から本日まで10日間にわたり開催されました。この間、議会では、町の重要課題を調査・検討するための2つの特別委員会を設置し、議会構成の充実を図りました。加えて、人事案件6件、報告2件、令和5年度補正予算2件、条例関係5件、その他2件の執行部提案、陳情書の審査等、終始熱心にご審議をいただきました。

また、町政一般質問には4人が立ち、ここに終了することができました。

10日間にわたる会期中、格別なるご精励をいただきました議員各位、また諸般にわたりご協力いただきました執行部の皆様に心よりお礼を申し上げます。

会議の中の発言には、町政を執行するに当たり参考になるものがあったかと思います。事務執行にそれらが十分生かされてくることを期待しております。

蒸し暑い毎日が続くようになっておりますが、皆様におかれましては、健康に十分ご留意いただきまして、各方面にわたり一層のご活躍を期待申し上げます。閉会の挨拶といたします。

◎閉会の宣告

○議長（佐藤聡一君） 以上をもって令和5年第2回定例会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

（午前11時42分）

地方自治法第123条の規定により下記に署名する。

令和 年 月 日

東吾妻町議会議長 佐 藤 聡 一

署 名 議 員 井 上 日 出 来

署 名 議 員 高 橋 弘

署 名 議 員 高 橋 徳 樹